

筑波大学新聞

第369号

編集責任 筑波大学新聞 編集委員会

TEL・FAX 029(853)6699

E-mail shinbun@un.tsukuba.ac.jp

発行所 筑波大学 茨城県つくば市 天王台1-1-1

注目記事

- オンライン教育の基盤開発
- 卒業・修了制作展 大作237点
- 水泳国際大会代表に5選手
- 座談会「キャンパス交通システム」
- 新歓祭本祭 3年ぶり対面開催へ

15 14 12 5 2

特集

コロナ禍で翻弄された留学生 筑波大の現状を追う 10・11

ミニ特集

筑波大の今を伝える学内誌 学生「編集者」に狙い聞く 7

宿舎建て替えて意見聴取会

世界で活躍する人材育成の場へ



リニューアルの説明を受ける学生ら(2月18日、グローバルヴィレッジ)

筑波大は、老朽化や入居率の低下が課題となっている学生宿舎の全面的なリニューアルに向けた意見聴取会を2月18日、グローバルヴィレッジで開催した。全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議(全代会)のメンバーら学生約20人が参加し「現在はトイレが共用で落ち着かない。居室にトイレがほしい」「宿舎費はできるだけ抑えしてほしい」などの要望が相次いだ。(車谷郁美 社会学類3年 写真も)

筑波キャンパスの学生宿舎は平砂、追越、一の矢、春日の4地区とグローバルヴィレッジを合わせて計67棟3805室(昨年4月1日時点)。国立大では日本の規模を誇る。だが、2007〜18年に新設したグローバルヴィレッジを除く多くの宿舎は築40年超となり、老朽化が進む。コロナ禍の影響もあり、入居率(同)は59%にとどまる一方で、宿舎費の安さから入居する学生も増えている。

学生生活課の担当者は意見聴取会で、リニューアルでは4地区に分散している学生宿舎を平砂、追越地区に集約する方向で、両学生宿舎を中心に全面的に建て替える説明した。世界で活躍する人材育成の場とするため、居住棟には学生が教員などから指導・相談を受けられるスペースを設ける。また、新しい発想を生み出し、学生文化の発信の場となる機能を持たせた「未来社会デザイン棟(仮称)」を整備する計画だ。

未来社会デザイン棟は24年度中、学生宿舎は25年度中の運用開始を目指す。建設費の調達や運営は、大学債と民間の事業者に委託するPFI方式の二つを併用することを検討中だ。一方、学生側からは宿舎費に関する質問や発言が多く出された。現在、一般学生宿舎の宿舎費は、改修棟が月1万9410円(春日地区のみ1万9615円)。法人化前に国からの予算で建てられたため、返済の必要がなく、宿舎費を低額に抑えることができていた。だが、リニューアル後の宿舎費は、グローバルヴィレッジの3万5800円を上回り、5万円台後半になると予想されるため、できるだけ安く抑えることを検討中という。

学生からは「低価格な宿舎に入居することを条件に筑波大への入学を親から認められたと話す友人もいる」など、できる限り低額にしてほしいという声が多く挙がった。また「入居時の初期費用が抑えられるよう、ベッドや机を引き続き備え付けしてほしい」などの要望もあった。

学生生活課の担当者は「経済的な問題を抱える学生の支援が必要」として理解している。十分に検討したい。これまでより宿舎費が高くなるが、学生が住みやすくなる付加価値をつけた」と話した。

筑波大学ビジョン2030公表

「GLOBAL TRUST」創出を目指す

筑波大は4月1日、2030年の筑波大のあるべき姿と、その実現に向けた取り組みを盛り込んだ「筑波大学Vision 2030」を発表した。世界の国々や社会、組織、個人と筑波大の信頼関係「GLOBAL TRUST(グローバルトラスト)」の創出を目指すという。この目標を達成するため、ビジョンを全てのステークホルダー(利害関係者)と共有して教育や研究を行うとともに、開放性と透明性を高めた自立的大学経営を推進するとしている。

グローバルトラストの創出を目指すには、世界の英知と国境を越えて集められたデータが新型コロナウイルスのワクチン開発に結びついたように、社会的な協力や協調の礎となるものだからだ。

同ビジョンは▽教育ビジョン▽研究ビジョン▽社会との共創ビジョン▽開かれた国際化推進部門の4つが置かれた。

一元化した情報発信を行うため、広報戦略室を改組した常設のエンゲージメント戦略室▽広報室を改組した広報部▽筑波会議などを担当する国際会議推進部門の3つが置かれた。

エンゲージメント戦略室は、優秀な学生の獲得や共同研究先の獲得、寄付の獲得、愛校心の醸成など自ら設定した目的ごとにターゲット別チームを編成し、教職員を兼務させる。広報部門はメディアに対して積極的な広報を行う。動画コンテンツの活用を推進して情報発信を強化するため、専門人材を雇用し、

「松村米子さんの小説『至高聖所』では、筑波大をモデルに女子学生の宿舎生活が描かれている。筑波大への進学決定直後に出会い、繰り返し読んだ。宿舎で友人と食卓を囲み、語りついで過す主人公・沙月らの暮らしに憧れ、入居を即決した▼トイレや浴室は共用で、ベッドと机に冷蔵庫を置く、居室のスペースはほぼなくなった。それでも、案外良い所だった。壁越しに伝わる話し声や食器が立てる雑音も、コロナ禍では孤独感の解消に役立った。200円で入れる平砂浴場の湯船は銭湯並みの広さで、湯に浸かる開放感最高だった▼だが、この春からアパート暮らしを始めた。4年間宿舎で暮らすつもりだったが、入居手続きの更新をすっかりした。確かに以前より暮らしは快適だ。大の字になって寝転がられるし、隣室の物音も聞こえてこない。だが、人の気配を感じない生活は、なんだか味気ない▼開学直後から整備が始まった宿舎の大半は、築後40年を超えている。今年2月には、宿舎の全面リニューアル計画に関する意見聴取会も開かれた。大学側の説明では、世界で活躍する人材育成の場とするため、チャートリアル教育のスペースを設け、イベントや研究発表を行う多目的ホールも整備されるという▼それはそれで素晴らしい。ただ、個人的には平砂浴場の行方が、とても気にかかっている。

キャンパス定期 大学循環のみに

ダイヤ改正 大学中央線は廃止

関東鉄道(本社・茨城県土浦市)は4月1日、キャンパス交通システムバス定期券(キャンパス定期券)の利用可能路線を筑波大学循環線(右回り、左回り)のみに変更した。今まで運用上利用可能としていた、筑波大病院線やテクノパーク大線など、他の筑波大への乗り入れ路線を利用した場合は、キャンパス定期券を持っていても運賃の支払いが必要になった。同日付でダイヤ改正も行われ、土浦、荒川沖、ひたち野上りの3駅をそれぞれ出発し、つくばセンター(つくば駅)経由で筑波大学中央に向かうバスは全て同センター止まりとなった。筑波大学中央発同センター行きは廃止され、第二エリア前のバスもなくなった。(天野幸太 比較文化学類3年、14面に関連記事)

今回の変更は、金額式IC定期券は、設定運賃以内の区間であれば、関鉄の路線バスのどの区間でも利用できる。交通の定期券は廃止される。

金額式IC定期券は、設定運賃以内の区間であれば、関鉄の路線バスのどの区間でも利用できる。交通の定期券は廃止される。

広報局新設

ターゲット別に発信

筑波大は4月1日付で広報局を新設した。広報室や学内の多様な組織が行ってきた広報活動を統括し、受験生、企業、政府や自治体、研究者などターゲット別に効果的な情報発信を行うことを目指す。動画による情報発信を強化するため、専門人材を雇用し、スタジオを新設する。広報と収益を兼ねた新規事業の開拓も図っていくという。

従来の広報室は各組織から提供された情報を広報誌や記者発表、ウェブサイトで発信してきた。これとは別に学長直轄の広報戦略室があり、広報戦略の策定や広報に関する課題の分析を担っていた。新設された広報局では、全学の広報業務を統括し、

「至高聖所」では、筑波大をモデルに女子学生の宿舎生活が描かれている。筑波大への進学決定直後に出会い、繰り返し読んだ。宿舎で友人と食卓を囲み、語りついで過す主人公・沙月らの暮らしに憧れ、入居を即決した▼トイレや浴室は共用で、ベッドと机に冷蔵庫を置く、居室のスペースはほぼなくなった。それでも、案外良い所だった。壁越しに伝わる話し声や食器が立てる雑音も、コロナ禍では孤独感の解消に役立った。200円で入れる平砂浴場の湯船は銭湯並みの広さで、湯に浸かる開放感最高だった▼だが、この春からアパート暮らしを始めた。4年間宿舎で暮らすつもりだったが、入居手続きの更新をすっかりした。確かに以前より暮らしは快適だ。大の字になって寝転がられるし、隣室の物音も聞こえてこない。だが、人の気配を感じない生活は、なんだか味気ない▼開学直後から整備が始まった宿舎の大半は、築後40年を超えている。今年2月には、宿舎の全面リニューアル計画に関する意見聴取会も開かれた。大学側の説明では、世界で活躍する人材育成の場とするため、チャートリアル教育のスペースを設け、イベントや研究発表を行う多目的ホールも整備されるという▼それはそれで素晴らしい。ただ、個人的には平砂浴場の行方が、とても気にかかっている。

研究の推進と学問分野の掛け合わせによる新たな研究分野の創成を展開することだ。

社会との共創ビジョンでは、産業界、行政、金融と連携したプラットフォームの確立や、学内の研究成果を結果した大型共同研究の推進などが盛り込まれた。開かれた大学ビジョンでは、外部資金の獲得強化などで財源を多様化することにも、「コンプライアンス法令順守」の強化、エンゲージメント(多様なステークホルダーとの信頼関係に基づく互恵的な協働)の強化などを図るとされた。

ビジョン2030は19年から、大学経営改革が中心となり、発信した情報が大学の評価の向上や人材・外部資金の獲得に寄与する好循環を生み出すことを目指す。広報局長を兼務する池田潤副学長(企画評価・広報担当)は「構想から1年はほどかけて新設の準備をしてきた。広報局を求心力のある組織にすることで、ターゲットをより理解し、特定の対象に効果的に刺さる広報を展開したい」と意気込みを語った。(小栗あおい 社会学類3年)



ウェブサイトはこちら

オンライン教育の基盤開発

留学生獲得や社会人の学び直しに

筑波大は3月10日、さまざまな大学が作成した講義などのコンテンツを国内外にオンライン発信できる教育プラットフォーム「Japan Virtual Campus (JV-Campus)」の運用を始めた。コロナ禍で来日できない留学生の受講や社会人が学び直しやリカレント教育などに活用する。全国の37大学機関が参加し、留学生への歓迎メッセージや日本語学習用の動画コンテンツが配信されている。

(及川千翔＝人文学類3年、車谷郁美)

JV-Campusに受講者や提供者のニーズに合わせたコンテンツが連携して配信される。北海道大や東北大、大阪市立大などの国立大学、中央大、上智大、立命館大などの私立大学、国際交流基金などの公的機関が参加する。

筑波大が文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援事業(SGU)の下で、開発した。

プラットフォームには、各機関が授業科目やオリジナルのコンテンツを発信する「個別機能Box」と、

活用▽芸術を利用したコミュニケーションの発展などについて、産業界などと連携して研究を進めていく方針だ。

適正飲酒に向けた取り組みを進めてきた吉本准教授は「飲酒関連問題へのアプローチは他分野に活用できる。アルコール依存症から社会復帰を目指す活動は、他の依存症の脱却や被災後の生活の立て直しを考へる上で役立つ。分野を超えて連携することで、研究をより広げられる」とセミナー設置の意義を語り、

Boxのコンテンツについては、地方の大学がそれぞれの得意分野を生かして連携し、教員の不足を補うことも想定されている。

ウェブサイトからユーザー登録することで、コンテンツを視聴できる。コンテンツには有料のもの、無料のものがある。

試験運用段階のため、コンテンツを提供する各大学・機関は2024年3月まで、無料でプラットフォームを利用できる。それ以降は、参加する大学や機関が年会費を支払うなど有料化が検討されている。

開発にあたった国際局プラットフォーム事業プロジェクトリーダーの大庭良介准教授(医学医療系)は「多様なコンテンツを提供し、利用者の学びの選択肢を広げたい」と話した。



ISCAの受賞作品の制作風景。

ISCA

小林さんが優秀作

見えないおいを可視化

(デザインP)

国内外の学生が制作した映像作品やデジタルコンテンツを表彰する「International students creative award (ISCA) 2022」(ナレッジキャピタル主催)のデジタルコンテンツ部門で、小林琴音さん(デザインP前期2年)の作品「嗅ぎ分ける流れ」が1月21日、優秀作に選ばれた。「おい」に対する人の反応を粒状の磁石の動きで表現した作品で、目に見えないおいを間接的に可視化する発想などが評価された。

ISCAは若い才能の発掘や育成が目的で、国内の学生が対象の「国内映像コンテンツ部門」「デジタルコンテンツ部門」と「海外映像コンテンツ部門」がある。2021年度は3部門合わせて76カ国から947作品の応募があった。

デジタルコンテンツ部門には68の応募があり、最優秀作1点、優秀作2点など計10点が入賞した。

優秀作となった「嗅ぎ分ける流れ」は、縦線(縦30センチ、横90センチ)の上に約40個の磁石の粒が載っている。縦線はシーソーのように上下し、それにつられて磁石の粒が左右に移動する。ところが、縦線の中央に納豆などにおいを出すものを置くと、磁石の粒はそれを避けて流れる。発生源を除いた後も、においが残っている間は、粒子は同様の動きをする。

縦線の中央には「ニオイセンサー」が取り付けられており、センサーにおいを検知すると、センサーが回転し、磁石が縦線に近づくと、近づいてきた磁石の磁力に反発し、中央を避けて流れるという仕組みだ。

この作品は元々、小林さんの芸術専門学群卒業制作(20年度)だった。当時「新型コロナウイルス感染症の後遺症として嗅覚障害が紹介されていた。良いにおいは自然と近づき、嫌なにおいは体を遠ざける人間らしい反応を表現することを思いついた」という。

デジタルコンテンツ部門の受賞作品10点は1月21日(金)にグランフロント大阪北館(大阪市北区)で展示された。小林さんは「受賞はとてうれしい。指導してくれた先生や先輩への恩返しになれば」と受賞の喜びを語った。

小林さんが次に表現したいのは、高速通信5Gだ。「通信速度が遅くてオンラインでしようとする人々の反応を表現し、高速通信の快適さを間接的に感じさせる作品を作りたい」と楽しそうな表情を見せた。(車谷郁美)

共同利用・共同研究拠点「健康・スポーツ科学分野で初」は、大学が持つ特徴的な研究施設を共同で利用し、学術研究の発展につなげる目的で、文科省が認定する。A-RIHHPは健康・スポーツ科学分野として初の拠点となった。

シンポジウムでは、永田恭介学長と征矢英昭センター長(当時)＝体育系・教授＝が主催者あいさつに立った。征矢センター長は「多くのステークホルダーと共に、これまで以上に情報工学や人文社会学などとの融合を図り、異分野にのちのちHHP科学の存在意義をアピールし、社会から認知されるよう邁進していきたい」と話した。

室伏長官のほか、文科省の池田貴城・研究振興局長や自然科学研究機構・生理

知るとセンサーが回転し、磁石が縦線に近づくと、近づいてきた磁石の磁力に反発し、中央を避けて流れるという仕組みだ。

この作品は元々、小林さんの芸術専門学群卒業制作(20年度)だった。当時「新型コロナウイルス感染症の後遺症として嗅覚障害が紹介されていた。良いにおいは自然と近づき、嫌なにおいは体を遠ざける人間らしい反応を表現することを思いついた」という。

デジタルコンテンツ部門の受賞作品10点は1月21日(金)にグランフロント大阪北館(大阪市北区)で展示された。小林さんは「受賞はとてうれしい。指導してくれた先生や先輩への恩返しになれば」と受賞の喜びを語った。

小林さんが次に表現したいのは、高速通信5Gだ。「通信速度が遅くてオンラインでしようとする人々の反応を表現し、高速通信の快適さを間接的に感じさせる作品を作りたい」と楽しそうな表情を見せた。(車谷郁美)

福島県沖地震 つくばで震度4 筑波キャンパス 一時停電

3月16日午後11時36分、つくば市で震度4を観測する地震があった。震源は福島県沖で、地震の規模を示すマグニチュード(M)は7.4と推定された。宮城県、福島県では震度6強を観測した。東京電力(本社・東京都千代田区)によると、16日深夜から17日未明にかけて、つくば市内で約3万7000戸が停電した。平砂、追越学生宿舎と春日エリアを除く筑波キャンパスは、高速通信5Gだ。「通信速度が遅くてオンラインでしようとする人々の反応を表現し、高速通信の快適さを間接的に感じさせる作品を作りたい」と楽しそうな表情を見せた。(車谷郁美)

旧した。残りの63台は18日午後5時までに復旧した。エレベーターに閉じ込められた人はいなかった。

施設サービス課によると、筑波キャンパスの建物や水道・ガスに被害はなく、学生や教職員のけがもなかったという。

停電した1の矢野舎に住む心理学類の女子学生は「発生時にスマートフォンが充電中だったので、20%を切っており不安だった。宿舎の外に出る学生も多く、お互いの無事を確認する声があふれた」と当時の状況を語った。(車谷郁美)

健康ライフスタイル開発研究センター設立

学際性生かし飲酒様式など研究

筑波大は「健康ライフスタイル開発研究センター」を4月1日に設立した。筑波大の特徴である学際性を生かし、医学や体育、芸術など幅広い分野を融合した研究に取り組み、健康で幸せなライフスタイルの創生を目指す。センター長には筑波大附属病院でアルコール低減外来を担当してきた吉本尚准教授(医学医療系)が就任した。

近年、人々の生活は、新型コロナウイルスなど感染症の流行や健康志向の高まり、グローバル化する社会

活用▽芸術を利用したコミュニケーションの発展などについて、産業界などと連携して研究を進めていく方針だ。

適正飲酒に向けた取り組みを進めてきた吉本准教授は「飲酒関連問題へのアプローチは他分野に活用できる。アルコール依存症から社会復帰を目指す活動は、他の依存症の脱却や被災後の生活の立て直しを考へる上で役立つ。分野を超えて連携することで、研究をより広げられる」とセミナー設置の意義を語り、

共同利用・共同研究拠点は、大学が持つ特徴的な研究施設を共同で利用し、学術研究の発展につなげる目的で、文科省が認定する。A-RIHHPは健康・スポーツ科学分野として初の拠点となった。

シンポジウムでは、永田恭介学長と征矢英昭センター長(当時)＝体育系・教授＝が主催者あいさつに立った。征矢センター長は「多くのステークホルダーと共に、これまで以上に情報工学や人文社会学などとの融合を図り、異分野にのちのちHHP科学の存在意義をアピールし、社会から認知されるよう邁進していきたい」と話した。

室伏長官のほか、文科省の池田貴城・研究振興局長や自然科学研究機構・生理



ISCAの受賞作品の制作風景。

共同利用・共同研究拠点は、大学が持つ特徴的な研究施設を共同で利用し、学術研究の発展につなげる目的で、文科省が認定する。A-RIHHPは健康・スポーツ科学分野として初の拠点となった。

シンポジウムでは、永田恭介学長と征矢英昭センター長(当時)＝体育系・教授＝が主催者あいさつに立った。征矢センター長は「多くのステークホルダーと共に、これまで以上に情報工学や人文社会学などとの融合を図り、異分野にのちのちHHP科学の存在意義をアピールし、社会から認知されるよう邁進していきたい」と話した。

室伏長官のほか、文科省の池田貴城・研究振興局長や自然科学研究機構・生理

共同利用・共同研究拠点は、大学が持つ特徴的な研究施設を共同で利用し、学術研究の発展につなげる目的で、文科省が認定する。A-RIHHPは健康・スポーツ科学分野として初の拠点となった。

シンポジウムでは、永田恭介学長と征矢英昭センター長(当時)＝体育系・教授＝が主催者あいさつに立った。征矢センター長は「多くのステークホルダーと共に、これまで以上に情報工学や人文社会学などとの融合を図り、異分野にのちのちHHP科学の存在意義をアピールし、社会から認知されるよう邁進していきたい」と話した。

室伏長官のほか、文科省の池田貴城・研究振興局長や自然科学研究機構・生理

共同利用・共同研究拠点は、大学が持つ特徴的な研究施設を共同で利用し、学術研究の発展につなげる目的で、文科省が認定する。A-RIHHPは健康・スポーツ科学分野として初の拠点となった。

シンポジウムでは、永田恭介学長と征矢英昭センター長(当時)＝体育系・教授＝が主催者あいさつに立った。征矢センター長は「多くのステークホルダーと共に、これまで以上に情報工学や人文社会学などとの融合を図り、異分野にのちのちHHP科学の存在意義をアピールし、社会から認知されるよう邁進していきたい」と話した。

室伏長官のほか、文科省の池田貴城・研究振興局長や自然科学研究機構・生理

共同利用・共同研究拠点は、大学が持つ特徴的な研究施設を共同で利用し、学術研究の発展につなげる目的で、文科省が認定する。A-RIHHPは健康・スポーツ科学分野として初の拠点となった。

シンポジウムでは、永田恭介学長と征矢英昭センター長(当時)＝体育系・教授＝が主催者あいさつに立った。征矢センター長は「多くのステークホルダーと共に、これまで以上に情報工学や人文社会学などとの融合を図り、異分野にのちのちHHP科学の存在意義をアピールし、社会から認知されるよう邁進していきたい」と話した。

室伏長官のほか、文科省の池田貴城・研究振興局長や自然科学研究機構・生理

共同利用・共同研究拠点は、大学が持つ特徴的な研究施設を共同で利用し、学術研究の発展につなげる目的で、文科省が認定する。A-RIHHPは健康・スポーツ科学分野として初の拠点となった。

シンポジウムでは、永田恭介学長と征矢英昭センター長(当時)＝体育系・教授＝が主催者あいさつに立った。征矢センター長は「多くのステークホルダーと共に、これまで以上に情報工学や人文社会学などとの融合を図り、異分野にのちのちHHP科学の存在意義をアピールし、社会から認知されるよう邁進していきたい」と話した。

室伏長官のほか、文科省の池田貴城・研究振興局長や自然科学研究機構・生理

共同利用・共同研究拠点は、大学が持つ特徴的な研究施設を共同で利用し、学術研究の発展につなげる目的で、文科省が認定する。A-RIHHPは健康・スポーツ科学分野として初の拠点となった。

シンポジウムでは、永田恭介学長と征矢英昭センター長(当時)＝体育系・教授＝が主催者あいさつに立った。征矢センター長は「多くのステークホルダーと共に、これまで以上に情報工学や人文社会学などとの融合を図り、異分野にのちのちHHP科学の存在意義をアピールし、社会から認知されるよう邁進していきたい」と話した。

室伏長官のほか、文科省の池田貴城・研究振興局長や自然科学研究機構・生理

共同利用・共同研究拠点は、大学が持つ特徴的な研究施設を共同で利用し、学術研究の発展につなげる目的で、文科省が認定する。A-RIHHPは健康・スポーツ科学分野として初の拠点となった。

シンポジウムでは、永田恭介学長と征矢英昭センター長(当時)＝体育系・教授＝が主催者あいさつに立った。征矢センター長は「多くのステークホルダーと共に、これまで以上に情報工学や人文社会学などとの融合を図り、異分野にのちのちHHP科学の存在意義をアピールし、社会から認知されるよう邁進していきたい」と話した。

室伏長官のほか、文科省の池田貴城・研究振興局長や自然科学研究機構・生理

共同利用・共同研究拠点は、大学が持つ特徴的な研究施設を共同で利用し、学術研究の発展につなげる目的で、文科省が認定する。A-RIHHPは健康・スポーツ科学分野として初の拠点となった。

シンポジウムでは、永田恭介学長と征矢英昭センター長(当時)＝体育系・教授＝が主催者あいさつに立った。征矢センター長は「多くのステークホルダーと共に、これまで以上に情報工学や人文社会学などとの融合を図り、異分野にのちのちHHP科学の存在意義をアピールし、社会から認知されるよう邁進していきたい」と話した。

室伏長官のほか、文科省の池田貴城・研究振興局長や自然科学研究機構・生理

つくば市 スーパーシティ特区に ネット投票や3D地図活用

政府の国家戦略特区諮問会議(議長・岸田文雄首相)は3月10日、先端技術を活用して住みよくなるまちづくりを目指す「スーパーシティ型国家戦略特区」につくば市と大阪府を指定することを決めた。近く閣議決定する。つくば市は「インターネット投票や人工知能(AI)を活用した自動運転車によるオンデマンド配車などの構想を提案していた。五十嵐立憲つくば市長は「構想を実現できる」とつくば市の実行力が期待されている。大塚光英だ」とコメントした。

同特区は、自治体が提案分野で利便性の向上を図る。2020年末に始まったAIやビッグデータを活用。法令上の規制が緩和され、国の公募では、昨年4月までに31自治体が提案。だが、「大

スイス選手団事前合宿で報告会

学生・選手間のつながり今も

筑波大で東京五輪の事前合宿を行ったスイス選手団をサポートした学生らによる報告会が3月14日、50棟(体芸棟)で開かれた。感染者も出さなかった。選手たちとともにもまた新たな経験があったとあいさつ。オンライン参加した在日スイス大使館のジョナス・ブルヴァア広報文化部長は「選手から事前合宿は快適だったと聞いている。選手のために尽くしていただき感謝する」との言葉を寄せた。報告会にはオリピック・パラリンピック総合推進室



スイス選手団事前合宿で報告会を行う学生ら(3月14日、50棟)

の主権。筑波大附属病院や筑波メディカルセンター病院、つくば市、茨城県、スポーツ庁、東京五輪・パラリンピック組織委員会など、オンラインも含めて学内外から約50人が参加した。スイス選手団の事前合宿は昨年7月14日から8月2日までの約3週間。マウンテンバイク、柔道、陸上の3競技の選手・スタッフ計52人を受け入れた。感染対策や選手の内なるアテンド対応に

胆な規制改革の提案が乏しい」などの理由で全ての自治体に見直しを求められ、同10月までに28自治体が再提案していた。つくば市の構想は「行政・物流・医療・健康」「防災・防犯・インフラ」など6分野に先端サービスを導入するといったものだ。「行政」では、インターネット投票や行政情報集約した多言語ポータルアプリの開発、「移動・物流」ではスマートフォンで相乗り予約ができるオンデマ

ドタクシーの導入などを計画している。また、三次元地図を自動車の走行などに活用する。つくば市はこれまで、提案の効果を検証し市民の声を聞き取り入れるために、実施実験を重ねてきた。今年2月には、移動や医療・健康サービスの導入として筑波大附属院内で自動車の走行実験を行い、整形外科の受診者約100人を診察室から受付まで運んだ。自動運転が実現すれば受診者の付き添

総合学域群 移行式開催

各学類・専門学群への進級祝い

総合学域群からの卒業を祝う移行式が3月22日に1D棟と1E棟で開催された。移行先の学群に応じて時間を区切って行われた。式には総合学域群の学生計321人、山中総合学域群長、第1〜3類長、関係教員らが出席。山中総合学域群長は「移行はスタート地点だ。卒業時に総合学域群で学んで良かったと思えるように、これからの学生生活も充実させてほしい」とエールを送った。当日は1E203教室が自由参加会場となり、各学類の教員らのメッセージカードが掲示された。また、

りて銀メダルを獲得したマティアス・フルツィガー選手をアテンドした谷中理矩さん(体育2年)は「オリピックが身近になり、いつかスイスでマウンテンバイクをしたいという気持ちになった」と振り返った。陸上競技の選手らをアテンドした木健さん(体育2年)は「筑波大の選手からペースを上げすぎないように」とネット経由で励まされたという。

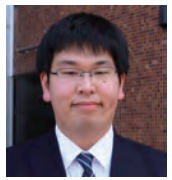
業務が減らば、業務の効率化につながる。つくば市の構想の全体統括者(アーキテクト)を務める鈴木健嗣教授(シス情系)は「30年までの構想実現が目標だ。筑波大を含む特区での取り組みは更に具

な分野を幅広く学べた。今後の専門的な学びにも経験を生かしたい」と話した。総合学域群は昨年4月に1期生を迎えた。学生は特定の学類・専門学群を決めずに大々入り入試(総合選抜)を受験して入学し、2年次への進級時に各学類・専門学群へ移行する。移行先は学生の志望先・志望順位や履修した科目の成績などに基いて決定された。移行先が決まる一次判定の結果は3月14日に教育情報システム「TWINs」で通知された。一次判定で移行先が決まらなかった学生の二次判定が行われ、対象者は再度志望先や志望順位を登録した後、同24日に移行先が決まった。(及川千翔、16面に関連写真)

新任人事

- 【系長】生命環境系 田中俊之
- 【大学執行役員】 研究人材キャリアデザイン担当 梅村雅之
- 【学術院・研究群長】 人文社会ビジネス科学学術院長 竹中佳彦 理工情報生命学術院長 江面浩 人間総合科学学術院長 新井哲明 人文社会科学学術院 群長 杉本武 生命科学学術院 群長 大淵真智子 数理学部学術院 群長 初貝安弘 生命科学地球科学研究群長 中田和人 人間総合科学研究群長 新井哲明
- 【学群・学類長】 (人文・文化学群) 人文学類長 島田雅晴 (人文学群) 比較文化学類長 山口恵里子 (社会・国際学群) 社会学類長 明石純一 (同) 国際総合学類長 柏木健一 (同) (人間学群) 学群長 樋口直宏 (人間学) 教育学類長 佐藤博志 (同) 心理学類長 山田一夫 (同) 障害学類長 宮本昌子 (同) (生命環境学群) 学群長 菅谷純子 (生環系) 生物学類長 中村順 (同) 地球資源学類長 植田宏昭 (同) (理工学群) 学群長 受川史彦 (数物系) 副学群長 日野健一 (同) 教育学類長 佐垣大輔 (同) 物理学類長 中務孝 (同) 化学類長 小島隆彦 (同) 応用理工学類長 金照榮 (同) 工学システム学類長 古賀弘樹 (シス情系) 社会学類長 有田智一 (同) (情報学群) 学群長 河辺徹 (同) 情報メディア学類長 森修一 (同) 情報メディア学類長 武井陽介 (医学系) 医学類長 武井陽介 (医学系) (総合学域群) 第2類長 秋山英三 (シス情系) 第3類長 山崎三郎 (シス情系) 第4類長 山崎三郎 (シス情系) 第5類長 山崎三郎 (シス情系) 第6類長 山崎三郎 (シス情系) 第7類長 山崎三郎 (シス情系) 第8類長 山崎三郎 (シス情系) 第9類長 山崎三郎 (シス情系) 第10類長 山崎三郎 (シス情系) 第11類長 山崎三郎 (シス情系) 第12類長 山崎三郎 (シス情系) 第13類長 山崎三郎 (シス情系) 第14類長 山崎三郎 (シス情系) 第15類長 山崎三郎 (シス情系) 第16類長 山崎三郎 (シス情系) 第17類長 山崎三郎 (シス情系) 第18類長 山崎三郎 (シス情系) 第19類長 山崎三郎 (シス情系) 第20類長 山崎三郎 (シス情系) 第21類長 山崎三郎 (シス情系) 第22類長 山崎三郎 (シス情系) 第23類長 山崎三郎 (シス情系) 第24類長 山崎三郎 (シス情系) 第25類長 山崎三郎 (シス情系) 第26類長 山崎三郎 (シス情系) 第27類長 山崎三郎 (シス情系) 第28類長 山崎三郎 (シス情系) 第29類長 山崎三郎 (シス情系) 第30類長 山崎三郎 (シス情系) 第31類長 山崎三郎 (シス情系) 第32類長 山崎三郎 (シス情系) 第33類長 山崎三郎 (シス情系) 第34類長 山崎三郎 (シス情系) 第35類長 山崎三郎 (シス情系) 第36類長 山崎三郎 (シス情系) 第37類長 山崎三郎 (シス情系) 第38類長 山崎三郎 (シス情系) 第39類長 山崎三郎 (シス情系) 第40類長 山崎三郎 (シス情系) 第41類長 山崎三郎 (シス情系) 第42類長 山崎三郎 (シス情系) 第43類長 山崎三郎 (シス情系) 第44類長 山崎三郎 (シス情系) 第45類長 山崎三郎 (シス情系) 第46類長 山崎三郎 (シス情系) 第47類長 山崎三郎 (シス情系) 第48類長 山崎三郎 (シス情系) 第49類長 山崎三郎 (シス情系) 第50類長 山崎三郎 (シス情系) 第51類長 山崎三郎 (シス情系) 第52類長 山崎三郎 (シス情系) 第53類長 山崎三郎 (シス情系) 第54類長 山崎三郎 (シス情系) 第55類長 山崎三郎 (シス情系) 第56類長 山崎三郎 (シス情系) 第57類長 山崎三郎 (シス情系) 第58類長 山崎三郎 (シス情系) 第59類長 山崎三郎 (シス情系) 第60類長 山崎三郎 (シス情系) 第61類長 山崎三郎 (シス情系) 第62類長 山崎三郎 (シス情系) 第63類長 山崎三郎 (シス情系) 第64類長 山崎三郎 (シス情系) 第65類長 山崎三郎 (シス情系) 第66類長 山崎三郎 (シス情系) 第67類長 山崎三郎 (シス情系) 第68類長 山崎三郎 (シス情系) 第69類長 山崎三郎 (シス情系) 第70類長 山崎三郎 (シス情系) 第71類長 山崎三郎 (シス情系) 第72類長 山崎三郎 (シス情系) 第73類長 山崎三郎 (シス情系) 第74類長 山崎三郎 (シス情系) 第75類長 山崎三郎 (シス情系) 第76類長 山崎三郎 (シス情系) 第77類長 山崎三郎 (シス情系) 第78類長 山崎三郎 (シス情系) 第79類長 山崎三郎 (シス情系) 第80類長 山崎三郎 (シス情系) 第81類長 山崎三郎 (シス情系) 第82類長 山崎三郎 (シス情系) 第83類長 山崎三郎 (シス情系) 第84類長 山崎三郎 (シス情系) 第85類長 山崎三郎 (シス情系) 第86類長 山崎三郎 (シス情系) 第87類長 山崎三郎 (シス情系) 第88類長 山崎三郎 (シス情系) 第89類長 山崎三郎 (シス情系) 第90類長 山崎三郎 (シス情系) 第91類長 山崎三郎 (シス情系) 第92類長 山崎三郎 (シス情系) 第93類長 山崎三郎 (シス情系) 第94類長 山崎三郎 (シス情系) 第95類長 山崎三郎 (シス情系) 第96類長 山崎三郎 (シス情系) 第97類長 山崎三郎 (シス情系) 第98類長 山崎三郎 (シス情系) 第99類長 山崎三郎 (シス情系) 第100類長 山崎三郎 (シス情系)

記者の声



西村大祐

4月から国立大学の第4期中期目標期間Ⅱが始まった。世界の有力大学に伍する指定国立大学法人として、「真の総合大学」を目指す筑波大の取り組みも本格化する。構想の柱の一つが若手教員(40歳未満)の比率向上だ。2040年度までに若手を900人規模で採用し、比率を3割に引き上げるとした。若手・中堅・成熟層のバランスが取れてこそ、持続可能な体制になるのは理解できる。その際、学類など教育組織の現状

若手増で持続的な教育研究を 教育組織の要望人事に生かせ

若手採用の比率は約18%。第4期末(27年度)までに270人の若手を採用し、比率を23%まで上げるとしている。若手採用の一環で20年度に導入されたのが「循環型戦略管理ポイント制度」だ。大学本部が教員の雇用予算に相当する「ポイント」を系な教育組織に貸し出し、教員が定年退職する最大2年前から、後任などを雇える制度だ。初年度は約20件が採択された。教育研究の継承にも資するこの制度を活用し、若手を積極的に進めたい。

教員人事では、教育組織と教員組織との連携も重要な。筑波大では、教員を教育組織とは別に採用する必要がある。21年度の任期の定めのない教員は1253人。人事課によると、21年度の任期の定めのない教員は1253人。人事課によると、21年度の任期の定めのない教員は1253人。

2期の最終年度(15年度)と比べて、教員が定年退職する最大2年前から、後任などを雇える制度だ。初年度は約20件が採択された。教育研究の継承にも資するこの制度を活用し、若手を積極的に進めたい。

教員人事では、教育組織と教員組織との連携も重要な。筑波大では、教員を教育組織とは別に採用する必要がある。21年度の任期の定めのない教員は1253人。人事課によると、21年度の任期の定めのない教員は1253人。

筑波時評

コロナ禍の生活が長期化し、心の学校生活が保たれている。学齢期の子もや高等教育機関に通う学生に多大な影響を及ぼしている。2020年2月に文部科学省から要請が出され、小中・高校での「斉休校」という事態が発生した。小・中学校の休校は、子どもの生活リズムの維持や学習の継続、心身の健康、親の就労など広範囲に甚大な影響があり、同年の夏休み明けには大半の学校がコロナ対策をしながら通常授業を行うようになった。それ以降も、対面が中を止めている学生が多いなどの不安は1年生が大きく、高校から大学への環境変化に加えて初め取り組むオンライン授業への戸惑いが大きいことが示された。一方、学部2・4年生は不安や緊張は小さいが、大学に行けないことによる意欲低下がみられたという。また、実家や寮に暮らす学生よりも1人で暮らす下宿生のストレスが強く、

大学は支援体制整備を 援助求めるスキル重要

オンライン授業の長期化が及ぼす影響は、学年や居住形態などの属性や、個人の持つソーシャルサポートなどの社会資源、レジリエンスとよばれる困難な状況に適應する能力などの心理特性によっても異なる。前述の調査から2年近く経過しており、その影響の個人差が大きくなっていることが予想される。学生一人一人の置かれている状況に目を向け、大学生活をサポートする取り組みが大学には求められている。学業的なサポートに加えて、メンタルヘルスの維持向上やキャリアサポートなど、多角的に学生生活を支援する体制整備が必要だ。

筑波大は「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応下のセルフケア・ガイド」を盛り込んだ冊子「セルフティライフ」を学生向けに出しており、保健管理センターや学生相談室なども情報を提供している。支援が必要な時に援助を求めることも大学生活において重要なスキルの一つだ。困った時には専門機関や友人、家族、教職員に相談してほしい。また、セルフケアとして深呼吸する、水を飲む、人に会いに行く、体を動かす、今できていることを書き出す、感謝の日記をつけるといった方法がある。自分に合った方法を見つけ、実践してほしい。

反射鏡

昨日の夜ごはん、何食べた？

衣食住は生活の三大要素と呼ばれる。その中でも一日の終わりに取る夕食は、体の疲れを癒し、翌日の活動につながる食事だ。一方で夕食の取り過ぎや夜遅くの食事は、肥満を招くと言われる。筑波大生の夕食事情を探った。(大橋翔和Ⅱ比較文化学類2年 寺尾優汰 山田優芽Ⅱ同3年、太田碧Ⅱ芸術専門学群2年)

【化学2年・女性】 夕食は生活の三大要素と呼ばれる。その中でも一日の終わりに取る夕食は、体の疲れを癒し、翌日の活動につながる食事だ。一方で夕食の取り過ぎや夜遅くの食事は、肥満を招くと言われる。筑波大生の夕食事情を探った。(大橋翔和Ⅱ比較文化学類2年 寺尾優汰 山田優芽Ⅱ同3年、太田碧Ⅱ芸術専門学群2年)

【化学2年・女性】 夕食は生活の三大要素と呼ばれる。その中でも一日の終わりに取る夕食は、体の疲れを癒し、翌日の活動につながる食事だ。一方で夕食の取り過ぎや夜遅くの食事は、肥満を招くと言われる。筑波大生の夕食事情を探った。(大橋翔和Ⅱ比較文化学類2年 寺尾優汰 山田優芽Ⅱ同3年、太田碧Ⅱ芸術専門学群2年)



イラスト=大橋翔和(比較文化学類2年)

【化学2年・女性】 夕食は生活の三大要素と呼ばれる。その中でも一日の終わりに取る夕食は、体の疲れを癒し、翌日の活動につながる食事だ。一方で夕食の取り過ぎや夜遅くの食事は、肥満を招くと言われる。筑波大生の夕食事情を探った。(大橋翔和Ⅱ比較文化学類2年 寺尾優汰 山田優芽Ⅱ同3年、太田碧Ⅱ芸術専門学群2年)

【化学2年・女性】 夕食は生活の三大要素と呼ばれる。その中でも一日の終わりに取る夕食は、体の疲れを癒し、翌日の活動につながる食事だ。一方で夕食の取り過ぎや夜遅くの食事は、肥満を招くと言われる。筑波大生の夕食事情を探った。(大橋翔和Ⅱ比較文化学類2年 寺尾優汰 山田優芽Ⅱ同3年、太田碧Ⅱ芸術専門学群2年)

「情報」の必修化どう思う

2022年度の高校1年生から実施される学習指導要領では、プログラミングやデータ活用などを学ぶ「情報」が必修科目として新設される。これに対応して25年度の大学入学共通テストから新教科「情報」(科目名は情報)が導入される。国立大学協会は受験生に「情報」を含む6教科8科目を課す方針だ。筑波大生は「情報の導入をどう受け止めているのだろうか。中央図書館などで聞いた。(坂田利通Ⅱ人文学類2年、寺尾優汰、山田優芽Ⅱ比較文化学類3年、浅野宏太Ⅱ社会学類2年)

【比文3年・女性】 これまでの人生で、プログラミングの必要性を感じたことはないが、できたら面白いと思う。共通テストの科目は大学で使わないものが多いが、教養として身に付けておくべきものが課されないのが残念だ。

【化学2年・女性】 夕食は生活の三大要素と呼ばれる。その中でも一日の終わりに取る夕食は、体の疲れを癒し、翌日の活動につながる食事だ。一方で夕食の取り過ぎや夜遅くの食事は、肥満を招くと言われる。筑波大生の夕食事情を探った。(大橋翔和Ⅱ比較文化学類2年 寺尾優汰 山田優芽Ⅱ同3年、太田碧Ⅱ芸術専門学群2年)

【化学2年・女性】 夕食は生活の三大要素と呼ばれる。その中でも一日の終わりに取る夕食は、体の疲れを癒し、翌日の活動につながる食事だ。一方で夕食の取り過ぎや夜遅くの食事は、肥満を招くと言われる。筑波大生の夕食事情を探った。(大橋翔和Ⅱ比較文化学類2年 寺尾優汰 山田優芽Ⅱ同3年、太田碧Ⅱ芸術専門学群2年)

【化学2年・女性】 夕食は生活の三大要素と呼ばれる。その中でも一日の終わりに取る夕食は、体の疲れを癒し、翌日の活動につながる食事だ。一方で夕食の取り過ぎや夜遅くの食事は、肥満を招くと言われる。筑波大生の夕食事情を探った。(大橋翔和Ⅱ比較文化学類2年 寺尾優汰 山田優芽Ⅱ同3年、太田碧Ⅱ芸術専門学群2年)



飯田順子

准教授 (臨床心理学)

人間系・准教授。筑波大附属学校教育局構成員。2003年筑波大大学院心理学研究科修了。博士(心理学)。東京成徳大講師などを経て、14年度より現職。

大学生活締めくくる大作237点

2年ぶり美術館で開催

卒業・修了制作展

筑波大の「令和3年度芸術専門学群卒業制作展」博多前期課程芸術専攻・芸術学学位プログラム(博士前期課程)「修了制作展」が2月8日から3月6日にかけて、茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催された。同館での開催は2年ぶり。卒業生109人、修了生45人の多彩な作品237点が



影山さんの作品「八百万の神」(3月2日、つくば美術館で) = 大橋翔和撮影

4期に分けて展示され、延べ4000人余りが訪れた。昨年はコロナ禍で会場を学内に移し、関係者限定で公開していた。2月8〜13日の卒業制作展前期日程では、洋画や日本文画、版画などが会場を彩った。田嶋はる奈さん(令和3年度芸術専門学群卒)は「屈折し歪曲するI・II」と題したパネル(縦130.3センチ、横162.2センチ)2枚一組の作品を出展した。

昼の東京の街並みを描いた同一は水色と白を基調とし、中央の車道から両脇にビルが立ち並ぶ。夜の東京の街並みを描いた同一は赤と黒を基調に、上空からビル街を見下ろすような視点で描かれた。制作にはデジタル上で写真を切り貼りする「デジタルカラーージュ」という方法を用いた。街並みの写真の上に、飲み会や酒樽の写真、紙をスキャンしたものをデジタル上で切り貼りした上で印刷する。その上に、油絵の具で着色した。

田嶋さんは「一人の存在が感じられるビル群や飲み会から鑑賞を楽しんだ。人文学類4年の学生は「日本神話を忠実に再現して面白く」と話した。同展の総括代表を務めた草野剛さん(芸術P前期1年)は「コロナ禍で、展示準備を例年の半分の人数で行うなどの苦労もあったが、例年並みの来場者があり、うれしかった」と振り返った。(大橋翔和・比較文化学類2年、太田碧二・芸術専門学群2年、16面に関連写真)

海外の美術系大学の学生と筑波大で芸術を学ぶ学生が共同制作と展示を行う「キャンパス・アーティスト・イン・レジデンス(CAIR)2022」(芸術系など主催)が昨年12月から今年3月にかけて行われた。映像作品、服やアクセサ

4回目となった今回のテーマは「FUEL」。担当教員の箕輪佳奈恵特任助教(芸術系)は「芸術を通して人々が関わり合い、新たな学びを得たり互いに影響を受けた時に感じる心の変化を大事にしたい」との意味を込めた。芸術専門学群の学生4人と英国、豪州の美大生4人の計8人がアーティストとして参加し、芸術専門学群の学生7人が展示の準備や

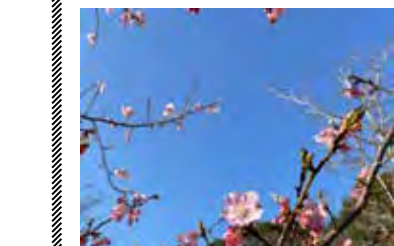
伊藤さんは自身の体を等身大に印刷したシートをソファ上に置き、重力に逆らえない状態を表現した。一方、ジェマイマさんは、曲がりくねった金属の棒に背中を載せて仰向けに垂れ下がったり、うつ伏せになったりする人物をディズレーに映し出し、重力に捕らわれて自由を失った体を表現した。また、展示初日と最終日には2人がパフォーマンス

を行った。伊藤さんが自身の印刷物の代わりにソファに横たわり、ジェマイマさんの指示によって肘を曲げる、叫ぶなどの動きを続けた。日本の体育の集団行動での、号令に従う動きから伊藤さんが着想した。伊藤さんは「演技と自分かっこいいも自分の体を口ポットのようになりたい動きかすのは違和感があった」と振り返った。(田中千裕二・生物学類2年、写真も)



パフォーマンスを行う伊藤さんとジェマイマさん(3月4日、総合交流会館で)

広報活動をするキュレーターとして参加した。コロナ禍のため、海外の美大生は前年に続き、オンライン上で交流を通じて作品を制作した。伊藤真生さん(昨年度芸術専攻研究)とジェマイマ・ルーカスさん(クワトリア芸術大)は、強制された動きによる感覚の喪失や違和感に注目した作品を制作した。



3月10日、つくば市吾妻で

俳句 筑波大

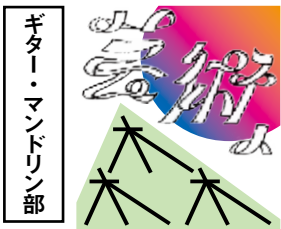
「春風」

側溝に全て流して春来る
新しき場所新しき人余寒
春風よ吹けたくまじき学生に

春の風は、やわらかい。弱い風も強い風も、体を、街を、心を優しく包みこんでくれる。さまざまな思いを抱いて筑波大に集まってきた新入生に、明るい未来が来ることを願って。(島崎寛永二・文学類3年、写真も)

今号からは「雪華俳句会」ポプラ俳句会に所属する島崎寛永さんが、つくば市内を散策して俳句を詠みます。

コロナ下の思い 演奏にのせ



筑波大ギター・マンドリン部の第43回定期演奏会が2月23日、つくば方ピオ(つくば市竹園)で開かれた。約40人の観客がマンドリンやギター、中低音を担当するマンドラや、低音のマンドロンチェロなど弦楽器の音色に浸った。

ギター・マンドリン部もコロナ禍で活動の自粛が続く中、昨年の定期演奏会が中止されるなど、演奏する部員たちの姿がその背景に重なる。しっとりとしたメロディーが転換し、ギターなどの伴奏が大きく響いて一気に盛り上がる瞬間は、解放感に満ちていた。

第2部の2曲目では、この演奏会を引退する3年生部員5人がアンサンブル「back number」の楽曲「水辺線」(清水依与吏作詞・作曲)を

ギター・マンドリン部もコロナ禍で活動の自粛が続く中、昨年の定期演奏会が中止されるなど、演奏する部員たちの姿がその背景に重なる。しっとりとしたメロディーが転換し、ギターなどの伴奏が大きく響いて一気に盛り上がる瞬間は、解放感に満ちていた。

落着いた曲が続く中、会場の空気がガラッと変えたのが、第2部で4曲目に演奏された合奏曲「March, Joy FLIGHTS」(遠藤秀安作曲)だ。4拍子のリズムカルなテンポが会場を明るく盛り上げた。演奏会時の部長だった和田尚志さん(地球4年)は「出身地も学類も違う5人がギター・マンドリン部で出会う、3年間を乗り越えてきた。5人がそれぞれのパートを演奏するが、主旋律は2人のパートが重なり合う場面が多く、みんなで演奏しているという実感があつた」と振り返った。

情づけるかを考えながら演奏したと語った。最後の曲「流星群」(末廣健児作曲)は、マンドロンチェロやコントラバスギターなどのゆったりとした低音が曲全体を支え、その上にマンドリンの高音がキラキラと細かく響き、大空に輝く流星群が表現された。

壮大な曲の余韻が残る中、アンコール曲「采光の架橋」(北川悠作詞・作曲)で会場の感動は最高潮に達した。やまぬ拍手に送られ、演奏会は幕を閉じた。(山田優芽二・比較文化学類3年、写真も)



『自由と規律—イギリスの学校生活—』池田潔著

が、大学に入ったら毎日、女性と心ゆくまで話をしようと思う決意していた。今思えばアホみたいな決意ばかりだが、とにかく「自由を謳歌する」というのは当時の私の一大決心であった。実際に入学後は女性と話す機会が豊富で、自由で創造性が豊かなのかと聞いてきた。その先生のお顔が奇麗な顔であったこともあり、その光景を今でもよく覚えている。「この人は何を言っているのだろうか?」と訝しがっている私たちにその教員は授業後、1冊の本を紹介してくださった。

そんな最中、1年時の5月中旬の教職課程の授業で「子どもの自主性・創造性をいかに育むか」という課題にグループで取り組んでいた。結論として「自由な教育環境を整え学習者の内なる好奇心を尊重する」という教

川口純 准教授 (比較国際教育学)

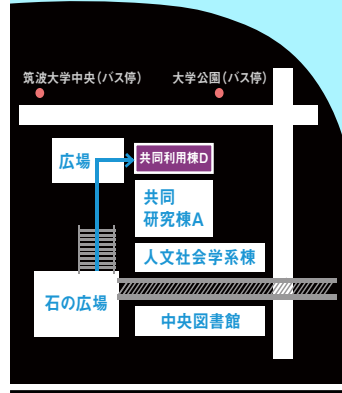
人間系・准教授。早稲田大学院アジア太平洋研究科博士課程修了。博士(学術)。大阪大助教などを経て、2015年より現職。

基礎的なランやパスの練習が繰り返され、自由で豊かな英国生活を思い浮かべていた筆者は、日本以上のスペル式教育に当惑する。当時の英国のパブリックスクールでの教育方針として「共同目的の貫徹」「規律への服従」「感情の抑制」などが目標として打ち出され、教員からは忍耐、奉仕の精神を徹底的にたたき込まれる。そのような厳格な規律の中で、筆者は「規律を前提とした自由や自由を保障する勇氣」を学び取っていく。学習でも部活動でも「応用は基本の反復練習からしか実現しない」「本当の自由は規律の中からしか生まれない」ことを実感していくのである。

教職課程を履修している人はもちろん、将来革新的な研究を志向する学生の皆さんにも是非、一読していただきたい良書である。

新人記者募集

筑波大学新聞は取材・執筆・紙面構成を全て学生主体で行います。
ここでしかできない特別な経験に、まずは自分なりのペースで触れてみませんか。



筑波大学新聞

編集会議：毎週月曜午後6時30分～
(オンライン会議システム「Teams」使用)
活動内容や新歓情報などは随時公式 SNS で更新します。

Twitter : @ut_shimbun
Instagram : university_of_tsukuba_shimbun
HP : <https://www.tsukuba.ac.jp/about/public-newspaper>



TEL:029-853-6699, MAIL : shinbun@un.tsukuba.ac.jp

「思い」を伝える



編集長 車谷郁実

「この間は記事を書いてくれてありがとう。コロナ禍での苦勞も紹介してもらい、本当にうれしかった。昨年7月の話です。対面アルトサクセス、クラリネット……。総勢76人の団員たちが奏でる音色を、どきどきと表現しようか。そう考えながら聴いていたことを思い出します。彼らの笑顔も印象的でした。」

筑波大学新聞では、学生たちの活躍や世界に誇る先端研究、つくば市の新しい取り組みなどを広く取材し、記事にします。

どのニュースにも、そこに関わる人の見えない「思い」があります。誰かの「思い」を発信し、伝える活動を一緒にしませんか。

(社会学類3年)

取材範囲は無量大



編集代表 嶋志田公男

「名刺一枚、誰にでも会える。それって本当?」本紙広告を目にして、そう思った新入生の皆さんも多いことでしょう。

は、筑波キャンパス内とつくばセンターを結ぶ路線バスを通常より大幅に安い定期券で利用でき、学生や教職員の足となってきましました。ですが、コロナ禍などで利用者が減り、今年4月から定期券代が値上げされることになったのです。

このシステムを持続可能なものにするには、どうしたらいいのか。編集部員の問題意識から企画された座談会には、大学の担当者や学生、研究者に加え、バス会社の担当者や、都市計画を担当する行政官にも参加していただきました。筑波大学新聞ならではの企画だと言えるでしょう。

筑波大は医学、芸術、体育の教育研究組織を併せ持つ日本で唯一の国立大で、

筑波大の今を伝える学内誌 学生「編集者」に狙い聞く

学内誌情報

	ツクマガ	Campus	紫峰の風	MILK	T+ペーパー
創刊年	2003	1975	2016	2011	2002
対象読者層	学生	学生、教職員	紫峰会基金寄付者	知識情報・図書館学類の学生	芸術専門学群の学生
編集担当	学生団体「C4」	全代会の広報委員会の学生	学生団体の広報担当者ら	知識情報・図書館学類の有志学生	T+ギャラリーを運営する学生
発行頻度	年2回	年3回	年4回	年2回 (+研究室紹介号)	不定期
発行部数	3000部(最新号は1500部)	4月号3700部(他950部)	1万~1万6000部	200部(研究室紹介号は25部)	約200部
配布場所	アジア住販など広告主店舗	中央図書館前や学食前など	大会館や各エリア支援室など	図書館の掲示板前	体芸エリアなど
サイズとページ数	B5版32ページ	A4版10ページ	A3版8ページ	A4版14ページ	三つ折りB5版
バックナンバーURL	https://c4jiten.wixsite.com/tsukumaga	https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~zdk/home/campus	https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/shihoukai/backnumber/	https://milk.klis.tsukuba.ac.jp/	https://t-tsu.wixsite.com/tpaperweb
最新号	23号(4月発行)	226号(4月発行)	24号(4月発行)	19号(昨年12月発行)	98号(4月発行)

(取材を基に作成)

学類での学びを共有

「知識情報・図書館学類」の有志学生が中心となり、今年も学内誌「ツクマガ」の発行に力を入れている。ツクマガは、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)



MILKとT+ペーパー(3月21日、本紙編集室で) = 山田優芽撮影

見て楽しいデザインを

代表の門間咲希さん(社会学3年)は「新たな価値観や見方など『発見』を最新の23号(4月発行)に与えたい。筑波大に身近なテーマをどのようにして伝えるかを考える」と話している。



誌面の校正をする「C4」のメンバーら(3月14日、つくば市春日) = 及川千翔撮影

「MILK」は「Management Information Library Knowledge」の略称で、知識情報・図書館学類が発行する学内誌だ。2011年創刊で、毎年7月と12月に200部ずつ発行している。「知識情報・図書館学類」による知識生(知識3年)は「専門に学んでいくだけに、本の紹介

から支えて、目標金額の75%にあたる45万2500円を集めた。門間さんは「目標金額には達しなかったが、多くの方々の応援を感謝している。今後はメンバーを集め、ツクマガを存続させられるよう力を尽くしたい」と話した。

「Campus」は、大にMUSTなMAST(情報メディア創成学類の略称)と題して、当時情報メディア創成学類の学類長だった河辺徹教授(シス情系)や学生らに、ネット社会での先進的な研究や学びを聞いた。他にも「筑波大学とオリンピック」などその時々トピックにまつわるもの、つくばの歴史や気候を特集したものなど内容がさまざま。1号分に二つの特集が掲載

Campus

「Campus」は、大にMUSTなMAST(情報メディア創成学類の略称)と題して、当時情報メディア創成学類の学類長だった河辺徹教授(シス情系)や学生らに、ネット社会での先進的な研究や学びを聞いた。他にも「筑波大学とオリンピック」などその時々トピックにまつわるもの、つくばの歴史や気候を特集したものなど内容がさまざま。1号分に二つの特集が掲載

企画記事に工夫を凝らす

「Campus」は、大にMUSTなMAST(情報メディア創成学類の略称)と題して、当時情報メディア創成学類の学類長だった河辺徹教授(シス情系)や学生らに、ネット社会での先進的な研究や学びを聞いた。他にも「筑波大学とオリンピック」などその時々トピックにまつわるもの、つくばの歴史や気候を特集したものなど内容がさまざま。1号分に二つの特集が掲載

「Campus」は、大にMUSTなMAST(情報メディア創成学類の略称)と題して、当時情報メディア創成学類の学類長だった河辺徹教授(シス情系)や学生らに、ネット社会での先進的な研究や学びを聞いた。他にも「筑波大学とオリンピック」などその時々トピックにまつわるもの、つくばの歴史や気候を特集したものなど内容がさまざま。1号分に二つの特集が掲載

学生の活動を伝える



次号発行に向けて会議をする学生ら(2月28日、大会館で) = 天野隼太撮影

「T+ペーパー」は、筑波大学アーカイブス(6A棟)の情報誌だ。同ギャラリーは筑波大の学生や教職員の制作発表の場として2001年に開設され、芸術専門学群の有志学生が運営に携わっている。情報誌は02年の創刊で、現在は8人のギャラリー運営メンバーのうちの3人で制作している。

1年ぶりに復刊

「T+ペーパー」は、筑波大学アーカイブス(6A棟)の情報誌だ。同ギャラリーは筑波大の学生や教職員の制作発表の場として2001年に開設され、芸術専門学群の有志学生が運営に携わっている。情報誌は02年の創刊で、現在は8人のギャラリー運営メンバーのうちの3人で制作している。

「T+ペーパー」は、筑波大学アーカイブス(6A棟)の情報誌だ。同ギャラリーは筑波大の学生や教職員の制作発表の場として2001年に開設され、芸術専門学群の有志学生が運営に携わっている。情報誌は02年の創刊で、現在は8人のギャラリー運営メンバーのうちの3人で制作している。

悩みは人手・資金不足

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

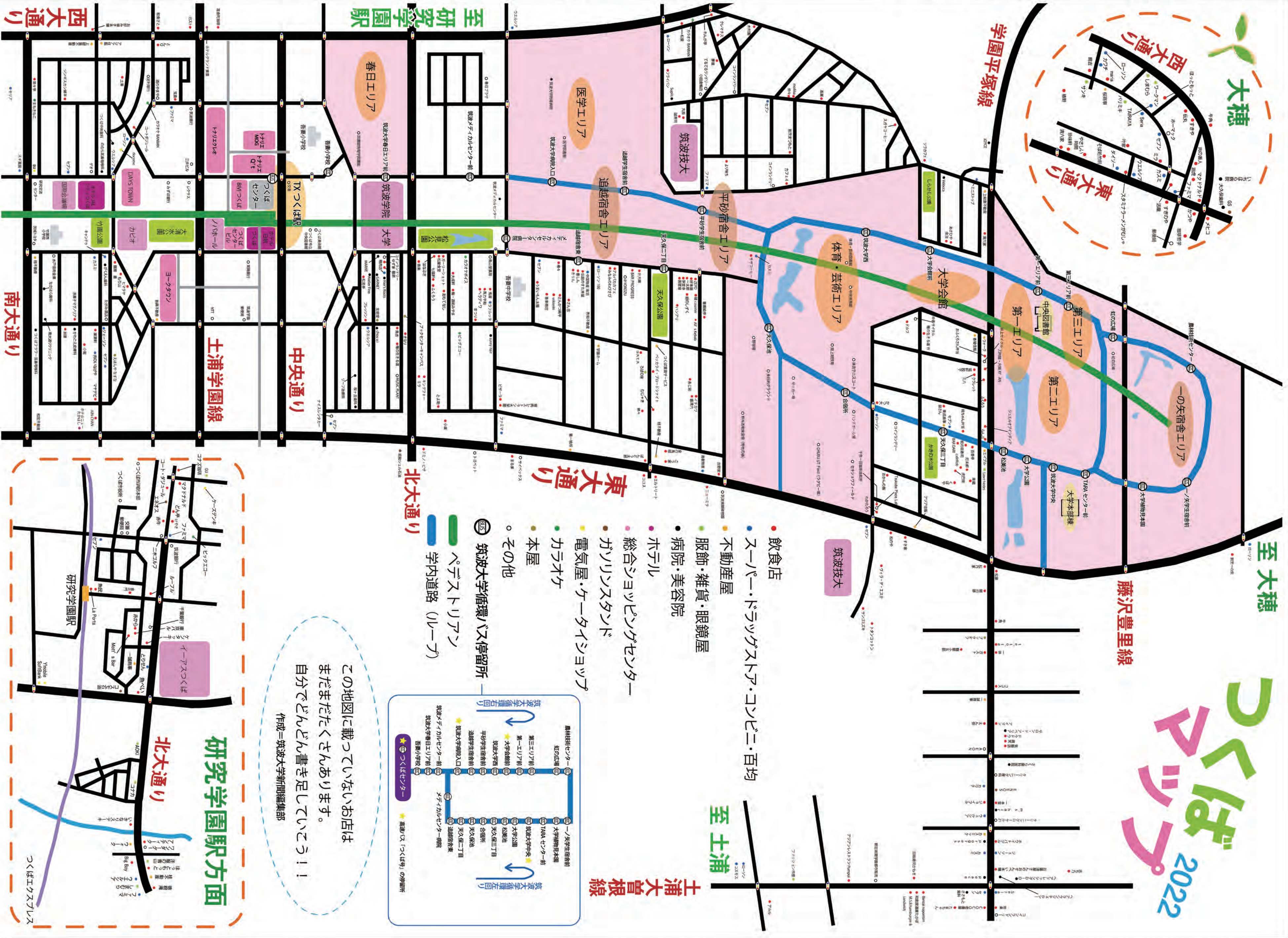
「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)

「ツクマガ」は、筑波大の学生生活や学内情報を中心に、学生が中心となって制作する学内誌だ。その特徴や発行の狙いを、団体に取材した。(及川千翔「人文学類」、天野隼太「山田優芽」比較文化学類、三橋美音「教育学類」)



つくば 2022

この地図に載っていないお店は
まだまだたくさんあります。
自分でどんな書き足していこう!!

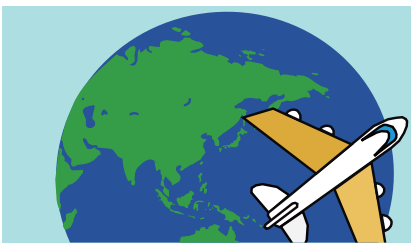
作成=筑波大学新聞編集部

- 飲食店
- スーパー・ドラッグストア・コンビニ・百貨
- 不動産屋
- 服飾・雑貨・眼鏡屋
- 病院・美容院
- ホテル
- 総合ショッピングセンター
- ガリンスタンプ
- 電気屋・ケータイショップ
- カラオケ
- 本屋
- その他



研究学園駅方面





コロナ禍で翻弄された留学生 筑波大の現状を追う



政府は今年3月から新型コロナウイルスの水際対策を見直し、留学生の入国規制を緩和した。筑波大でも留学生受け入れ再開の動きが進むが、既に来日を断念した留学生もいる。また、留学生が戦力となっている研究室の運営などにも支障が生じている。大学の対応や未入国の留学生、研究現場の動向取材し、有識者に水際対策がもたらした影響を聞いた。

(天野隼太、寺尾優汰、比較文化学類、車谷郁実、社会学類)

留学生、3年連続で減少

5月には正常化も

筑波大は指定国立大学法で学生交流課の担当者は人の構想で、2030年まで「コロナ禍の影響が大きい」に増やす目標を掲げている。だが、ここ数年、留学生の減少が続く。18年5月には2457人だったが、19年5月は2372人、20年5月は2247人、21年5月は2171人と3年連続で減少した。

直近2年間の減少について、生1095人のうち544人は21年度に入国した留学生で、21年度に入国した留学生は1095人のうち544人(国費留学生8人、私費留学生297人、私費研究生239人)に上る。

主要国の水際対策が緩和される中、日本の対応は「鎖国状態」などの批判を受け、政府は3月から水際対策を緩和。未入国の外国人留学生は昨年時点で約15万人に達したが、松野博一官房長官は「5月末には相当数の留学生が入国できる」との見方を示していた。

筑波大は政府の緩和方針を受け、3月3日に入国に必要な手続きなどを紹介するウェブページを開設。日本語版と英語版を作るなど

留学生の対応分かれ

「早く日本に行きたい」

日本政府の水際対策緩和に対し、筑波大への留学生の対応は分かれた。

米ハワイ州の日系二世、若菜友太さん(総合理工2)は「一日でも早く日本に行きたい」と、制限緩和を歓迎する。昨年10月に筑波大に入学し、12月7日に来日予定だった。だが、11



オンラインで取材に応じる若菜友太さん

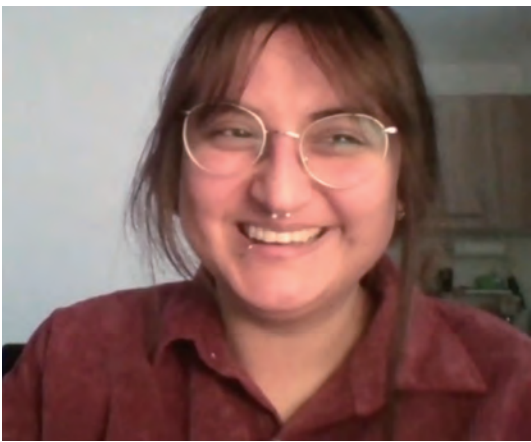
中国・山東省の李丞良さん(総合理工2年)は、来日するかどうか決めかねている。昨年10月に入学してから約半年間、オンラインで授業を受けてきた。他の学生と交流する機会はほとんどなく、早く日本に渡って同級生らに会いたいという気持ちも大きい。オミクロン株の感染状況がまだ気にかかっているからだ。

感染に不安

一方、独ミュンヘンに住むサンチェス・アナイスさん(国日P前期2年)は「日本には渡航しない」という。アナイスさんは20年4月に筑波大に入学。入学時から1学期ごとに日韓独の3カ国を回り、二つの国の大学で修士号を取得できるプログラム「TEACH」に参加している。だが、コロナ禍で来日はできず、ミュンヘンの自宅での学習を余儀なくされた。入国することができた韓国でも、入国の隔離制限などが厳しく、高麗大のキャンパスで学ぶことはできなかった。

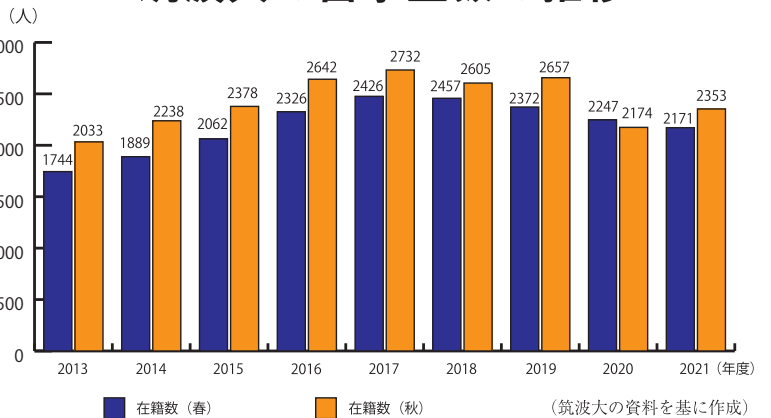
渡日は断念した

一方、独ミュンヘンに住むサンチェス・アナイスさん(国日P前期2年)は「日本には渡航しない」という。アナイスさんは20年4月に筑波大に入学。入学時から1学期ごとに日韓独の3カ国を回り、二つの国の大学で修士号を取得できるプログラム「TEACH」に参加している。だが、コロナ禍で来日はできず、ミュンヘンの自宅での学習を余儀なくされた。入国することができた韓国でも、入国の隔離制限などが厳しく、高麗大のキャンパスで学ぶことはできなかった。



オンラインで取材に応じるサンチェス・アナイスさん

筑波大の留学生数の推移



情報提供に努めた。また、入国後に隔離が必要な学生に、待機場所の確保や「受付済証」の発行申請を進めている。

受付済証は留学生の受け入れ先の大学が厚生労働省の入国者健康確認センターに発行を申請する。大学は発行された受付済証を留学生に電子メールで送る。留学生が所定の申請書類と併せて現地の日本大使館に提出すると、ビザが発行される仕組みだ。3月22日時点で、約500人分(22年度新規入学者分含む)の受付済証の手配を終えた。

スチューデントサポーターセンター・国際交流支援室長の櫻井岳暁教授(数物系)は「受付済証の申請から発行までがとて早くなった。これまでもスピード感が違う。政府の計画通り、5月ごろには希望者の入国がほぼ完了するのではないかと期待を寄せる。

台湾で留学生励ます集い

筑波大台湾オフィスは今春は入国できる可能性が高い。待っているよーなどの声がかげられた。集いに参加した楊群一さん(国際2年)は20年9月に筑波大に入学したが、1年半近く入国できていない。「留学生仲間と対面で交流できる機会はとても貴重で、うれしかった。入国できないながらも、や感を打ち明けるとかできた、気持ちが落ち着いた」と話した。

1年半入国できず不安打ち明ける

台湾オフィスの阿部淳一(ピーター助教(生環系))は「日本に入国できない学生のストレスが溜まってきているのではないかと考えた」と企画の背景を語った。

明石教授に聞く

留学生が長期間入国できなかった状況は今後、日本にどのような影響を及ぼすのだろうか。移民研究を専門とする明石純一教授(人社系)に聞いた。

(聞き手・車谷郁実)

学生同士の国際交流という観点からは、どれほどの影響があったか検証を要する。コロナ禍かどうかにかかわらず、日本の学生と留学生との交流は全般的に盛んであるとは言いがたいから



この空白は、新型コロナウイルス感染症拡大が収束するまで埋められるようなものではない。日本では、中国や韓国を留学先に選ぶという点にも変わりかねない。また、各国で政治や経済の中枢が感染拡大防止にどの程度効果があるのかを科学的に示し、透明性のある説明を行うことが求められる。

「空白の世代」生む水際対策

一方、日本という国にとって負の影響は大きい。長期間、日本に留学生が入国できなくなったことで、日本について学ぶ若い外国人の世代に「空白」が生じて

広告掲載欄

(紙面のみでの掲載となります)

広告のお問い合わせは

電話 029 - 853 - 6699

Eメール shinbun@un.tsukuba.ac.jp

(筑波大学新聞へのご意見・お問い合わせも上記までお願いいたします)

戸惑う研究現場

留学生を受け入れる側の筑波大の研究室も、日本の水際対策の影響で、学生の指導や研究計画の見直しを迫られることになった。

分子寄出生物学を専門とするホー・キョン准教授(医学医療系)の研究室では、所属する大学院生4人全てが留学生だ。その内2人は、母国に帰国後に再入国できないなど、入国できない学生は1人。21年春に入学したものの、入国できない学生は1人。入国できない学生は1人。入国できない学生は1人。

学生の卒業時期遅れる恐れ

汗腺、脂腺などの皮膚付属器、色合いなどは回復せず、癬癩と呼ばれる傷痕が残る。

一方、千葉教授らが研究対象としたアカハライモリでは、傷の回復過程がヒトとは大きく異なっていた。

千葉教授らは、イモリの体のさまざまな場所の皮膚を切除し、再生の様子を詳しく調べた。イモリは皮膚に深い傷を負っても、かさぶたはできない。その代わりに傷の周囲の表皮が伸長し、傷口が素早く閉じられた。

影響は学生団体にも

留学生の帰国制限の影響は、学生団体にも及ぶ。リッパやペットボトルの削減、筑波大周辺のゴミ拾いなどに取り組む学生団体「Echo UT」は留学生が中心となり2019年

院生9人全員が留学生だ(3月15日時点)。日本と母国の文学作品の比較研究をテーマにする留学生が多いが、9人中3人は、日本政府の水際対策によってまだ

多様性の確保難しく

現在12人のメンバーで活動し、そのうち留学生は6人を占める。だが、21年の留学生入会者は0人で、設立当初10人が所属していた留学生数は減少の一途をたどっている。

代表のベイリッツ重里さん(生物2年)は「留学の減少でメンバーの多様性が確保できないと、環境問題を限られた視点からしか考えられなくなってしまう。また海外の学生との英語でのやり取りが困難になり、活動の幅が狭まる可能性がある」と懸念する。

Hello! 先端研究



千葉親文教授



両生類のイモリは体のさまざまな部分を失っても再生する能力を持つ。千葉親文教授(生環系)らは2年余りにわたる研究の末、イモリの皮膚が傷を残さずに再生する過程の全容を解明した。外科学や美容医学で理想的とされる、傷痕を残さない再生治療(無癬癩治療)につながる成果として期待を集めている。

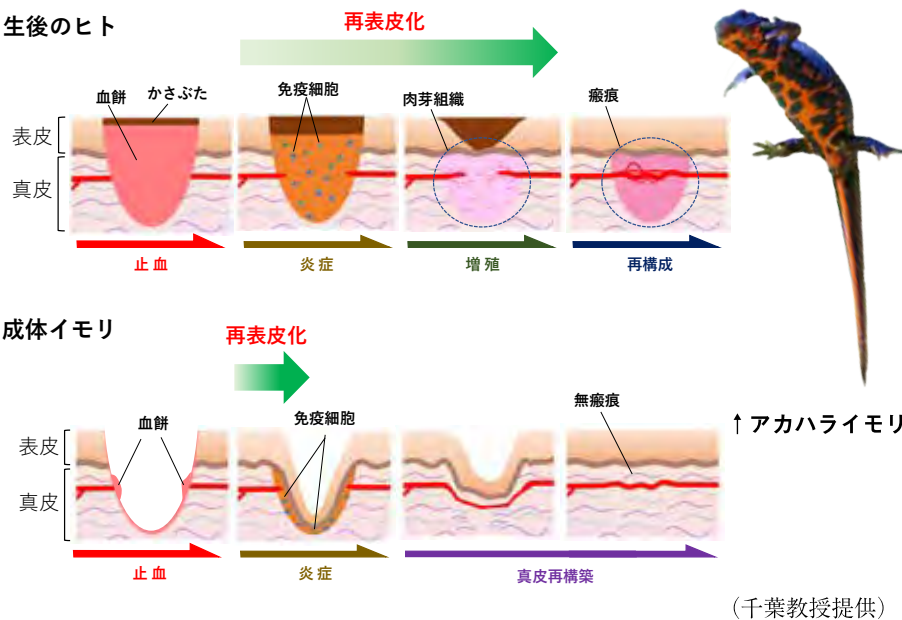
イモリの皮膚再生過程を明らかに

傷痕が残さぬ治療法開発に新知見

好中球などの免疫細胞が集まると、炎症が起ると、周囲の組織から集まった線維芽細胞が増殖し、コラーゲンなどの線維タンパク質を分泌する。これが毛細血管とともに線維性の結合組織(肉芽組織)を形成して傷口を埋めると、表皮が再び傷口を覆う再表皮化が起きる。その際、線維性タンパク質が無秩序に集まると、傷痕が残る。

千葉教授らは、イモリの体のさまざまな場所の皮膚を切除し、再生の様子を詳しく調べた。イモリは皮膚に深い傷を負っても、かさぶたはできない。その代わりに傷の周囲の表皮が伸長し、傷口が素早く閉じられた。

生後のヒトと成体イモリにおける再表皮化の過程



全国の主要大学を擬人化した漫画をご存じですか? 「大学あるあるコレクション」(ネピア著)として単行本化もされています。

生真面目な性格でけっこう苦勞性な(東大君)や、イベント好きでノリのいい(早稲田君)に対して、学園都市に引きこもっている(筑波君)は、周囲からは謎が多いと思われる。表情が見えないほど前髪が長く、いつも白衣を羽織っています。

無駄な時間も大事

自分はどういう人間なのだろう。何が好きで何が嫌いなのか。何を喜び、何に傷つくのか。それはどうしてなのか。

そんなことにしか興味がないのですから、人間としても大学生として



小説家 松村栄子 さん

なせなら、自分のことが分れば、他者のことも分かるようになるからです。他者のことが分かれば、その集合体である社会のことも自ずと想像がつくようになります。

いきなり他者について社会について学ぶよりも、確かな近道だったのかも知れません。

今は、次から次へと想定外の事件が起きて、何が有益になるのか予測しづらい時代です。先を見つめることはもちろん大事ですが、あまり計算高くならず、(筑波君)のように人目を気にせずしたいことだけを愚直に追求するというのも悪くはないと感じます。

好きな時に寝て、好きな時に食べて、好きなことをして誰にも非難されない。負うべき責任もほとんどない。お気楽そのものです。

ただし、そんな生活が無限に続かないことは承知していました。期限は4年間。

その限られた時間を、わたしは何か実用的な目的のために使いたくはない。受験のための勉強に飽き飽きだと思えます。

考えることといえば自分のことばかりでした。

なせなら、自分のことが分れば、他者のことも分かるようになるからです。他者のことが分かれば、その集合体である社会のことも自ずと想像がつくようになります。

4年間で得た「強さ」を表現

卒業ダンス公演

令和3年度卒業ダンス公演(筑波大舞踏研究室主催)が2月2日に大学会館で行われた。筑波大ダンス部員や体育専門学群開設の授業「ダンス実技理論実習」の受講生、有志学生ら約240人が出演し、10演目の創作ダンスを披露した。公演は無観客で開催され、YouTubeでライブ配信された。



「ここで僕らは強く。」のエンディングで力強く両手を広げる4年生=ダンス部提供

ダンス

第一部では「ダンス実技理論実習」を受講した1年生による、楽しさや葛藤、達成感などさまざまな感情を九つの小作品で表現した『Collective』。酸いも甘いも僕らの軌跡や、ダンス部による「歓喜を歌う騎士」がスタッフ・クリフト、Beethoven Friez

第二部で披露された「猫の額で逢うふたり」は、舞踏研究室の卒業生2人が演じた。筑波大という狭い空間で、同じ研究室の仲間として過ごしてきた2人の関係を表現した。会場全体の照明を落とし、スポットライトの当たる範囲だけで踊ることで、猫の額のような狭い空間を表現した。

公演の最後はダンス部や体操部、柔道部などさまざまな部活動に所属する4年生有志の「ここで僕らは強く」。4年間の学生生活で感じた楽しさや悔しさを糧に成長する姿を描いた。日常生活やイベントなどでの経験を表現した五つの小作品とエンディングで構成されており、小作品ごとに衣装の色合いや振り付け

「e」より」などが披露された。

の雰囲気や大きく変えることで、視覚的な面白さと4年間の成長を表現した。エンディングには31人の4年生有志全員が出演し、腕を大きく広げて力強く足を踏み出す迫力のある動きと、晴れやかな表情で「これから強く生きていく」という決意を表現した。

出演した菊池月さん(体育1年)は「コロナ禍で部活動を越えた交流が減っていたが、今回はあまり関わりのなかった同級生とも作品を作り上げることができ、楽しかった」と話す。実行委員長の池田美里さん(体育1年)は「配役を見た人の『元気が出た』という言葉がうれしかった。出演者にとっても、自分の新たな一面を知る機会になったのではないかと語った。

国際大会代表に5選手

女子50歳以上 込山が選考会制す

日本水泳連盟は3月、今年の国際大会の日本代表選手を発表した。筑波大から水泳部所属の5選手(発表時)が選ばれた。世界選手権(6~7月、ハンガリー・ブダペスト)のアーティスティックスイミング(AS)の部で佐藤友花(体専3年)が代表に加わる。込山(同4年)は世界ユニバーシアード大会(6~7月、中国・成都)の女子50歳以上自由形代表に内定。木之下歩夢(同3年)と葛巻弥(令和3年度体育専門学群卒)は同大会の水球男子代表となった。山田周汰(体専4年)は9月の杭州アジア大会(中国)男子シンクロナイズド高飛び込みに出場する。

(細井真生)人文学類3年、及川千翔

水泳競技

AS 二度の選考会を経て、女子の代表候補約30人のうち13選手が世界選手権代表に選ばれた。佐藤は昨年10月の第1次選考会を6位で通過。同11月の最終選考会でも

5位に入り、代表に内定した。8人で演技するチームに加え、弟の佐藤陽太郎(常総学院高校)と組むミックステュエット(MD)にも出場する。

日本からMDに出場するのは佐藤姉弟だけで、世界的にもチーム種目とMDの良さ表現したい。チーム

では、指先の動かし方や角度などを細かく合わせ、水しぶきまでそろえる演技で一体感を演出したい」と決意を述べた。

木之下と葛巻は、昨年9月の日本学生選手権で準優勝したことで、同10月の日本選手権で活躍したことが評価された。

キーパーの木之下は「小学6年生の時から日本代表になることが夢だった。やっと達成できてうれし」と笑顔を見せた。

木之下の身長は173センチで、キーパーとしては小柄だ。しかし、シュートに素早く反応できるようなシャドーボクシングやバドミントンを練習に取り入れ、動体視力や反射神経を磨いてきた。

「セービング時の動き方



写真:松尾/アフロスポーツ

ガッツポーズで優勝を喜ぶ込山

など細かな部分に調整の重点を置き、大会までコンディションを落さないようにしたい」と語った。

競泳 国際大会日本代表選手選考会が3月2~5日、東京都辰巳国際水泳場(東京都江東区)で開かれた。込山は女子50歳以上自由形自己ベストの25秒41で優勝した。また、女子100歳以上バタフライで飯塚千通(同4年)が

3位、男子50歳以上泳ぎで小島健太郎(同4年)が6位になるなど筑波大勢は計6人が入賞した。

決勝で込山は5レーン、隣の4レーンを東京五輪で400メートルに出場した大本里佳(全日本空輪)が泳いだ。25日地点ではほぼ全ての選手が横一線に並んだが、込山が後半に抜け出した。そのまますごい。込山は予選、決勝と続けて自己ベストを更新。「前日に1時間半ほど泳ぎ込み体の軸がぶれないよう、水をかきタイミングをしっかりと合わせた。後半25日はいつもより0.3秒ほど速く泳げ、自己ベストが更新できた」と振り返る。

各種目の上位2人以内で、派遣標準記録を突破することが代表の要件だ。込山は派遣標準記録(24秒67)に及ばなかったが、同連盟選手選考委員会の総合的な判断で世界ユニバーシアード大会の代表に内定した。

初の日本代表を射止めた込山は「練習の成果が全国大会初優勝という結果で現れ、自信になった。ユニバーシアード大会では決勝進出を目指すと意気込む。山田がアジア大会で出場

速に対応できる」と考えたからだという。

Jリーグの現状について「コロナ禍でサッカーの収益が激減した。クラブ独自の資金集めが求められる」とし、「地域に貢献し交流を深めることが鍵となる」と分析した。

赤崎さんは、他の競技の状況も知り、「大学院で異業種の人々と議論することで、自分の価値観がどう変化するか楽しみだ。次世代の選手が安心して挑戦できる環境づくりに向け、ロールモデルになりたい」と結んだ。(及川千翔)

赤崎 秀平(あかさき・しゅへい) 1991年生まれ、鹿児島県いちき串木野市出身。筑波大体育専門学群卒。大学4年時には、筑波大学蹴球部に在籍したままJ1鹿島アントラーズでプロデビューを果たす。その後の同川崎フロンターレや名古屋グランパスなどで活躍し、現在はJ2・ベガルタ仙台に所属。

今大会は東京五輪で入賞した選手や世界ランク上位の選手が数多く出場し、パワフルな試合展開が期待される。背負投を狙い、組み合わない相手を取らぬ、組み合った相手は指導を二つ受けてしまふ。その後、相手に指導が二つ与えられたが、相手は依然として技を決めようとしなない。試合は延長戦に入っても同じ展開が続く。三つ目の指導を受けた田中

柔道 GSパリ3位

柔道 グランドスラム(GS)パリ大会が2月5、6日に開かれ、男子66kg級に田中龍馬(体専3年)が出場した。前回大会からの連覇を目指したが、3位に終わった。

今大会は東京五輪で入賞した選手や世界ランク上位の選手が数多く出場し、パワフルな試合展開が期待される。背負投を狙い、組み合わない相手を取らぬ、組み合った相手は指導を二つ受けてしまふ。その後、相手に指導が二つ与えられたが、相手は依然として技を決めようとしなない。試合は延長戦に入っても同じ展開が続く。三つ目の指導を受けた田中

リレー男子4位

14年ぶりの入賞

日本学生選手権(インカレ)のミドルディスタンス部門とリレー部門が2月4~6日に青山高原周辺(三重県伊賀市)で行われた。新型コロナウイルスの影響で両部門の開催は3年ぶり。筑波大からは22人が出場した。ミドルディスタンス部門では樋口佳那(資源2年)が新人特別賞を受賞するなど選手権クラスと一般クラスで計6人が入賞した。リレー男子選手権の部では菅波崇志(同4年)、祖父江有祐(地球4年)、永山遼真(体専4年)がチームを組み4位に入賞。同部での筑波大の入賞は

2008年以来14年ぶり。オリエンテーリングは、山野に設置されたポイント順番通りに通過し、ゴールまでの時間を競う。地図とコンパスを用いて自身の位置を把握し、ポイントまでのルート設計を選手自身で行うことが特徴だ。

リレー部門は3人の選手がチームを組んでタイムを競う。男子選手権の部では各選手が約6キロのルートで走る。舞台となる青山高原には、走行が比較的容易な、なだらかな地形と、尾根伝いの移動が想定される険しい地形が混在する。場面に応じた的確なルート選択がタイム短縮の鍵となる。第一走の菅波は4位と好

訂正

368号8面サッカー「プロクラフ」7選手の記事で、櫻庭立樹(同4年)のJ3FC大阪加入が発表されたことでしたが、正しくは、櫻庭立樹(同4年)のJFL・FC大阪加入が発表されたの誤りでした。訂正します。

赤崎秀平さん

(ベガルタ仙台)

現役と両立 ロールモデルに

サッカー



赤崎秀平さん

サッカーJ2・ベガルタ仙台で活躍中の赤崎秀平さん(30)は平成25年度体育専門学群卒。今年4月、筑波大学院スポーツウェルネス学学位プログラム博士前期課程に進学した。現役Jリーガーが大学院へ進むのは異例だ。プロモーションやマネジメントなどスポーツに関することを幅広く学ぶという。

本紙のインタビューに応じた赤崎さんは「選手活動の経験を社会に伝えるには、大学院で学び直して考えを深める必要があると考えた」と進学の経緯を語った。

赤崎さんは母校・佐賀東高校(佐賀市)サッカー部の全国大会出場を受け、食費や遠征費用を支援するクラウドファンディングを行ったり、仙台市の幼稚園児をベガルタ仙台のホームゲームに無料招待したりするなど、これまでも地域貢献に取り組んできた。

引退後ではなく、現役で進学したのは「地域貢献や選手のセカンドキャリアなど、サッカー界の課題に迅速に対応できる」と考えたからだという。

Jリーグの現状について「コロナ禍でサッカーの収益が激減した。クラブ独自の資金集めが求められる」とし、「地域に貢献し交流を深めることが鍵となる」と分析した。

赤崎さんは、他の競技の状況も知り、「大学院で異業種の人々と議論することで、自分の価値観がどう変化するか楽しみだ。次世代の選手が安心して挑戦できる環境づくりに向け、ロールモデルになりたい」と結んだ。(及川千翔)

赤崎 秀平(あかさき・しゅへい) 1991年生まれ、鹿児島県いちき串木野市出身。筑波大体育専門学群卒。大学4年時には、筑波大学蹴球部に在籍したままJ1鹿島アントラーズでプロデビューを果たす。その後の同川崎フロンターレや名古屋グランパスなどで活躍し、現在はJ2・ベガルタ仙台に所属。

今大会は東京五輪で入賞した選手や世界ランク上位の選手が数多く出場し、パワフルな試合展開が期待される。背負投を狙い、組み合わない相手を取らぬ、組み合った相手は指導を二つ受けてしまふ。その後、相手に指導が二つ与えられたが、相手は依然として技を決めようとしなない。試合は延長戦に入っても同じ展開が続く。三つ目の指導を受けた田中

柔道 GSパリ3位

柔道 グランドスラム(GS)パリ大会が2月5、6日に開かれ、男子66kg級に田中龍馬(体専3年)が出場した。前回大会からの連覇を目指したが、3位に終わった。

今大会は東京五輪で入賞した選手や世界ランク上位の選手が数多く出場し、パワフルな試合展開が期待される。背負投を狙い、組み合わない相手を取らぬ、組み合った相手は指導を二つ受けてしまふ。その後、相手に指導が二つ与えられたが、相手は依然として技を決めようとしなない。試合は延長戦に入っても同じ展開が続く。三つ目の指導を受けた田中

柔道 GSパリ3位

柔道 グランドスラム(GS)パリ大会が2月5、6日に開かれ、男子66kg級に田中龍馬(体専3年)が出場した。前回大会からの連覇を目指したが、3位に終わった。

今大会は東京五輪で入賞した選手や世界ランク上位の選手が数多く出場し、パワフルな試合展開が期待される。背負投を狙い、組み合わない相手を取らぬ、組み合った相手は指導を二つ受けてしまふ。その後、相手に指導が二つ与えられたが、相手は依然として技を決めようとしなない。試合は延長戦に入っても同じ展開が続く。三つ目の指導を受けた田中

柔道 GSパリ3位

柔道 グランドスラム(GS)パリ大会が2月5、6日に開かれ、男子66kg級に田中龍馬(体専3年)が出場した。前回大会からの連覇を目指したが、3位に終わった。

今大会は東京五輪で入賞した選手や世界ランク上位の選手が数多く出場し、パワフルな試合展開が期待される。背負投を狙い、組み合わない相手を取らぬ、組み合った相手は指導を二つ受けてしまふ。その後、相手に指導が二つ与えられたが、相手は依然として技を決めようとしなない。試合は延長戦に入っても同じ展開が続く。三つ目の指導を受けた田中

関東大学新人戦 準優勝

6大会ぶりの決勝で大東文化大に敗れ



新人戦の優秀選手に選ばれた小川=男子バスケットボール部提供

関東大学バスケットボール新人戦が今年3月、大田区総合体育館(東京都大田区)と駒沢オリンピック公園総合運動場(東京都世田谷区)で開催された。筑波大は2015年の優勝以来6大会ぶりに決勝進出を果たしたが、大東文化大に55-68で敗れ、準優勝に終わった。小川敦也(体専2年)が大会の優秀選手に選出された。(田中千裕)

バスケット
大会はトーナメント戦で、筑波大は10日の3回戦から登場したが、対戦相手も不戦勝となった。13日の決勝戦では、第1

め、19-16で第1クォーターを終えた。第2クォーターは開始40秒、相手ゴール下でボールを奪われ、そのまま3Pシュートで同点に追いつかれた。その2分後に相手に与えられたフリースローで逆転を許した。浅井英夫(同2年)が終了間際にシュートを決めるも、29-34で前半を終えた。

第3クォーターでは、平田航大(同3年)が開場1分で3Pシュートを決め、2点差に迫る。その後も積極的にゴールを狙うが、相手のディフェンスに苦しみ、41-55と引き離された。第4クォーターでは、残り2分の時点で45-64まで点差が開いた。吉田健司監督(体育系・准教授)がタイムアウトを取り、「プレッシャーをかけて速い展開で

攻めていこう」と指示。選手はそれを実践し、2分間で10点を挙げる追い上げを見せたが、55-68で敗れ、準優勝となった。

準々決勝、決勝で先発出場した小川は「チームを勝利に導けず悔しい。次戦では、自分で攻める場合と味方を生かす場合の判断を的確に行い、勝利に貢献したい」と話した。

植村男子セブンズ日本代表で躍動

世界相手にアタックで手応え

ラグビー
7人制ラグビーの国際大会「HSBCワールドラグビーセブンズシリーズ2022」のセリア大会(スペイン)が1月28、30日に開かれ、筑波大ラグビー部の植村陽彦(体専4年)が男子セブンズ日本代表選手として初出場した。同シリーズは各国を転戦しながら行われ、世界の国と地域を代表する15チームがコアチームとなり、計10ラウンドを戦ってチャンピオンを決める。男子の2022年シリーズは昨年11月から始まり、今年5月まで行われる。セリア大会はシリーズの第4ラウンドで、日本代表は計5試合を戦った。初日、2日目のフル戦ではイングランドに10-28、仏に0-43で敗れたが、ウェールズには26-15で勝利した。3日目は9位以下のトーナメント戦に回り、招待チームのジャマイカに24-19で勝利したものの、続くスペイン戦は5-26で

敗れ、11位タイで大会を終えた。植村は5試合中3試合に出場した。日本代表デビューとなったイングランド戦で植村は、16点を追う後半2分にスクラムハーフとしてピッチに立った。交代直後のスクラムで

ボールを取り出した際に、相手にボールを奪われた。すぐに取り返したものの、一瞬の隙を突かれたことにより「ハット」として一気に集中力が高まった」という。その後、オープンサイドでボールを受けて走り込む積極的な攻めをみせた。試合終了直前には、左サイドでボールを受ける敵陣に走り込んでパスを出し、味方のトライにつなげた。

植村は「一瞬のスピードでは(海外の選手に)負けていない。アタックでは手応えがあったが、後半の持久力が足りないと感じたと語り、「スピードの強化を図り、オリンピックを目指す選手になりたい」と今後を見据えた。(車谷郁実)

つくば体操フェスティバル

Gボールやライトで魅了



ライトを使って最終演目「ダイナソー」を披露する部員ら(2月5日、つくばカピオで)

体操



つくばカピオ(つくば市竹園)で細井真生(人文学類3年)写真も。16面に「つくば体操フェスティバル2022」が2月5日に開かれた。会場には筑波大体操部や地域の体操教室など20団体が集まり、2歳から70歳代までの約150人が22演目を披露した。観客約50人も訪れた。

回フェスティバルは、筑波大体操部員らでつくる実行委員会とつくば市スポーツ協会の開催。有観客の開催は2年ぶりだった。筑波大体操部は三つの演目を披露した。

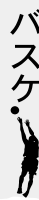
最初の演目は「つくば2年ぶりに有観客で実施

この他、転倒を予防する動作などを取り入れた「TK体操」をする時間が設けられ、出場者と観客が一緒に体を動かした。

フェスティバルの実施にあたっては、参加者にワクチン接種や抗原検査の実施を義務付けるなど、新型コロナウイルスの感染対策を徹底した。副実行委員長で筑波大体操部主将の森本朝子さん(障害4年)は「有観客で開催できてうれしかった。演技中に拍手をしたのはバスケットだった。友人と一緒に練習することが楽しく、続けることができた」と話した。

地元・広島市の市立中

スポーツの顔



バスケット
身長191センチ。素早いドリブルで敵陣に切り込みシュートを放つドライブが得意で、リバウンド取得率も高いオールラウンダーだ。日本大に逆転勝利した昨年12月の全日本大学選手権(インカレ)準々決勝でも、2度目の延長最終盤にドライブで得点し、試合の行方を決定づけた。

小学3年時に友人の誘いで競技を始めた。小学6年時には166センチの身長があり、水泳や拳法など他のスポーツも経験した。しかし、長続きしたのはバスケットだった。

だが、練習試合でオープンにボールを失ったことが

「お前のミスで負けた」と叱責され、生来の負けず嫌いに火が付き、その後、ハンドリングやフットワークの練習に徹底して取り組む、一対一の苦手意識を克服した。「主将のおかげで自信を持って粘り

「お前のミスで負けた」と叱責され、生来の負けず嫌いに火が付き、その後、ハンドリングやフットワークの練習に徹底して取り組む、一対一の苦手意識を克服した。「主将のおかげで自信を持って粘り

目標はインカレ優勝

「お前のミスで負けた」と叱責され、生来の負けず嫌いに火が付き、その後、ハンドリングやフットワークの練習に徹底して取り組む、一対一の苦手意識を克服した。「主将のおかげで自信を持って粘り



筑波大バスケット部のオールラウンダー 三谷桂司朗(体専3年)

強いプレーができるようになった。感謝している」と振り返る。バスケットボールに対する向き合い方も変わった。「楽しい」という理由で続けてきたが、「勝つ」と練習や試合をし、走力やシュート力は通用する

は、当時B2リーグ所属の広島ドラゴンフライズに特別指定選手として3カ月間加入した。「短い期間だったが、プロ選手と練習や試合をし、走力やシュート力は通用する

岐路に立つキャンパス交通システム

座談会 持続可能な運用に必要なものは

【1面参照】キャンパス交通システムⅡのバス定期券(キャンパス定期券)が4月から値上げされた。コロナ禍による利用者減などが理由で、これまでの2倍の年間1万9000円になった。また、関東鉄道(本社・茨城県土浦市)の金額式IC定期券導入に伴い、キャンパス定期券を利用できる路線が筑波大学循環(右回り、左回り)のみになった。同システムを持続可能に運用していくためには何が求められるのか。制度管理を担う総務課、利用者である学生・教職員、運行者である関東鉄道の関係者を招いて座談会を開いた。司会は本紙副編集長の天野隼太(比文3年)。参加者は別表の通り。(本紙取材班)

参加者の皆さん

- 【教員】
大澤義明教授(シス情系)
谷口綾子教授(シス情系)
- 【総務課】
中澤秋夫総務課長
西川友貴子主任
- 【関東鉄道】
武藤成一常務取締役
橋本英一営業課課長補佐
- 【卒業生、大学院生、学類生】
浅見知秀・小山市都市整備部技監(平成19年度社会学学類卒)
西村詩央里さん(令和3年度社会学学学位プログラム修了)
岡田慧さん(地科P後期1年)
荒金志紀さん(社工3年)
國分潤さん(工シス3年)
成田紗由美さん(生物2年)



岡田さん

経費を下げるか 収入を確保するか
—持続可能な運用には何が必要か
岡田 大学循環は右回り・左回りのバスがお互いに交互に走っているが、時間帯によっては向きをどちらか一本にすることが可能ではないか。早朝の時間は宿舎からつくばセンター



浅見さん

に、深夜は同センターから宿舎に向かう学生が多いと考えられる。学生が多く住む東大通り側が主な利用層とすると、午前6時台は右回りのみ、午後8、9時台は左回りのみとすることで、乗客に負担が少ない形で減便できると思う。
浅見 持続可能なシステムにするためには、経費を下げるか収入を確保するか



大澤教授

のどちらかが必要だ。後者の視点から提案すると、値上げをす代わり、キャンパス定期券でつくば市全域を乗り放題にするなど、新しいユーザーを取り入れるサービスにすればどうか。
大澤 乗り放題にするば、学生がつくば市のさまざまな場所を訪れるようになり、地域活性化につながる。



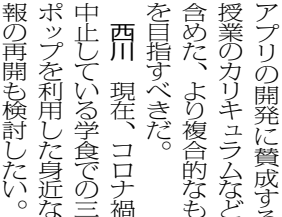
成田さん

掲示板での宣伝やアプリの開発を
—定期券の購入者を増やす方法はないか
成田 筑波大学循環は時々利用しているが、定期券を購入していない。入学



谷口教授

時にもらう書類の中に紹介のチラシが入っていたと思うが、見落としてしまったから。学習管理システム「manaba」や教育情報システム「TWINS」の掲示板を利用して宣伝してはどうか。
谷口 掲示板での告知以外にも、定期券機能を内蔵し、時刻表が確認できるようなアプリを大学が開発



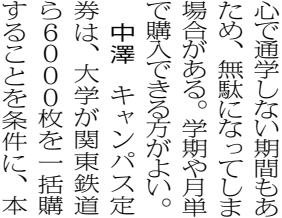
西村さん

し、維持・管理をしていく体制づくりが必要だと思う。
西村 初期投資にかなりの費用がかかると思うが、アプリの開発に賛成する。授業のやり取りを促進する含め、より複合的なものを目指すべきだ。
西川 現在、コロナ禍で中止している学食での三角ポップを利用した身近な広報の再開も検討したい。



荒金さん

定期の月額制も
—定期券の販売は、1年単位のままでいいか
荒金 学生にとって一度に1万9000円払うのは荷が重い。月額2000円とかなら、結果的に1年でよくなったと思う。現在は、オンライン授業が中心で通学しない期間もあるため、無駄になってしまっている。学期や月単位で購入できる方がよい。
中澤 キャンパス定期券は、大学が関東鉄道から6000枚を一括購入することを条件に、本来



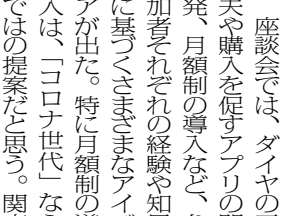
國分さん

2万円を超えることになるが、一度買ってしまえば、一度買ってしまうという気持ちになる。
國分 コロナ禍以前であれば、授業が対面毎日通学していたので、1年単位でよくなったと思う。現在は、オンライン授業が中心で通学しない期間もあるため、無駄になってしまっている。学期や月単位で購入できる方がよい。



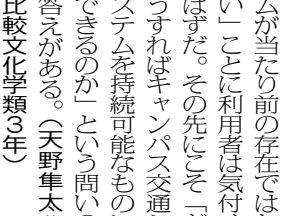
天野隼太

記者の目
昨年12月のダイヤ改正に始まり、4月からのキャン



中澤課長

「システムが岐路に立つ今だからこそ、利用者の学生・教職員、維持管理者の大学、運行者の関東鉄道の3者が、システムの在り方について意見交換をする場を作りたい」と思ったからだ。
座談会では、ダイヤの工夫や購入を促すアプリの開発、月額制の導入など、参加者それぞれの経験や知見に基づきさまざまなアイデアが出た。特に月額制の導入は、「コロナ世代」ならではの提案だと思ふ。関東



比較文化学類3年

また、利用者である学生や教職員に、システム「現状」を知ってもらうことも重要だ。関東鉄道の通常の料金体系に基づけば、キャンパス定期券は本来9万6770円になること。コロナ禍により廃止案まで持ち上がったこと。ほとんど知られていないその現状が伝われば、「システムが当たり前の存在ではない」ということに利用者は気付くはずだ。その先に「どうすればキャンパス交通システムを持続可能なものにできるのか」という問いの答えがある。(天野隼太)



比較文化学類3年

また、利用者である学生や教職員に、システム「現状」を知ってもらうことも重要だ。関東鉄道の通常の料金体系に基づけば、キャンパス定期券は本来9万6770円になること。コロナ禍により廃止案まで持ち上がったこと。ほとんど知られていないその現状が伝われば、「システムが当たり前の存在ではない」ということに利用者は気付くはずだ。その先に「どうすればキャンパス交通システムを持続可能なものにできるのか」という問いの答えがある。(天野隼太)

コロナ禍の影響 色濃く
座談会の冒頭で中澤総務課長は「利用者減により関東鉄道から同システムのキャンパス定期券の割引制度の廃止(通常の定期券価格への変更)案も出たが、交渉の末、定期券の値上げ(割引率の改定)で合意した」と説明。関東鉄道営業

課の橋本課長補佐は利用路線変更の経緯を説明した。また、西村さんが、コロナ禍前後の同システムの利用状況や収支状況の変化、昨年12月のダイヤ改正による影響を分析した修士論文の内容を発表した。

西村さんは「キャンパス定期券が値上がりしたタイミングで売り上げが減少している」と指摘し、システムを改善する必要性を訴えた。



利用路線変更を説明する関東鉄道の橋本課長補佐(左)と武藤常務取締役(3月11日、工学系学系F棟で) = 太田碧撮影

留学生の声

アフガニスタン

学位プログラム)
学位プログラム)

「障害者と健常者が共に学べる環境」を研究テーマに持つ。アフガニスタンの障害者教育や就労支援について学んでいる。

この夢の実現に向け、障害者の教育支援方法などについて学んでいる。

現地のシエイクサイド大学の医学部で学び、アフガニスタンの医師資格を持つ。卒業後は大学に残って講師となることを考えていたが、政府による制度変更もあってか、国際協力機構(JICA)のアフガニスタン事務所で4年間働いた。

授体制の整備が遅れていることを痛感した。

日本で印象に残ったのが、神奈川県平塚市の社会福祉法人が運営する事業所だった。自動車メーカーと連携し、知的障害者が自動車部品の組み立

母国に障害者と健常者が共に学ぶ場を

JICAでは、障害者教育を行う現地の教員向け指導書の制作などに携わった。研修で日本を2度訪れ、アフガニスタンの障害者教育や就労支援

て行っており、「障害者に合わせた働き方ができる環境や就労サポートが大切だ」と感じたという。だが、アフガニスタンの障害者教育は視覚と聴

覚にとどまり、知的障害者への教育方法は確立してない。就労支援も遅れている。そうした現状を変えようとしたら、日本への留学を考えようになった。

筑波大を選んだのは、

「システムが岐路に立つ今だからこそ、利用者の学生・教職員、維持管理者の大学、運行者の関東鉄道の3者が、システムの在り方について意見交換をする場を作りたい」と思ったからだ。

座談会では、ダイヤの工夫や購入を促すアプリの開発、月額制の導入など、参加者それぞれの経験や知見に基づきさまざまなアイデアが出た。特に月額制の導入は、「コロナ世代」ならではの提案だと思ふ。関東

また、利用者である学生や教職員に、システム「現状」を知ってもらうことも重要だ。関東鉄道の通常の料金体系に基づけば、キャンパス定期券は本来9万6770円になること。コロナ禍により廃止案まで持ち上がったこと。ほとんど知られていないその現状が伝われば、「システムが当たり前の存在ではない」ということに利用者は気付くはずだ。その先に「どうすればキャンパス交通システムを持続可能なものにできるのか」という問いの答えがある。(天野隼太)

アフガニスタンでは、小中高生の年代の子供たちのうち約10万人が何らかの障害を持つとされている。しかし、学校に通っている子供は約1万人しかいないと推計した。「教育施設が充実しておらず、交通も不便などの理由で、学校に通いたくても通えない障害児が多いのではないか」と分析している。

アフガニスタンの妻と子供4人を残して来日した。日本へ呼び寄せようとしたが、コロナ禍や昨年8月のタリバン復権でカブールの日本大使館が撤退したことで、実現しなかった。

妻子の安否は心配だが、博士の学位を取得するまでは、日本で研究を続けるつもりだ。(車谷郁実 II 社会学類3年、写真は本人提供)

アフガニスタンの妻と子供4人を残して来日した。日本へ呼び寄せようとしたが、コロナ禍や昨年8月のタリバン復権でカブールの日本大使館が撤退したことで、実現しなかった。

妻子の安否は心配だが、博士の学位を取得するまでは、日本で研究を続けるつもりだ。(車谷郁実 II 社会学類3年、写真は本人提供)

アフガニスタンの妻と子供4人を残して来日した。日本へ呼び寄せようとしたが、コロナ禍や昨年8月のタリバン復権でカブールの日本大使館が撤退したことで、実現しなかった。

妻子の安否は心配だが、博士の学位を取得するまでは、日本で研究を続けるつもりだ。(車谷郁実 II 社会学類3年、写真は本人提供)

アフガニスタンの妻と子供4人を残して来日した。日本へ呼び寄せようとしたが、コロナ禍や昨年8月のタリバン復権でカブールの日本大使館が撤退したことで、実現しなかった。

妻子の安否は心配だが、博士の学位を取得するまでは、日本で研究を続けるつもりだ。(車谷郁実 II 社会学類3年、写真は本人提供)

アフガニスタンの妻と子供4人を残して来日した。日本へ呼び寄せようとしたが、コロナ禍や昨年8月のタリバン復権でカブールの日本大使館が撤退したことで、実現しなかった。

新歓祭3年ぶり対面へ

人数や滞在時間を制限 感染対策徹底で

新入生歓迎祭(新歓祭)の本祭が4月9日に開催される予定だ。対面開催は2019年以来3年ぶり。約1,000の学生団体が参加する見込みで、屋外や教室での展示、特設ステージでの発表が行われる(及川千翔)。

開催日は土曜日とし、所間などを記録する。属する学群・総合学域群によって受け入れる新入生を午前の部と午後の部に振り分ける。いずれも新型コロナウイルス感染症対策の一環で、密集を避けるため、大学会館前や石の広場など屋外展示52団体、第一エリアで教室展示に39団体が参加する。屋外、教室とも団体ごとにブースを設置し、ビラの配布や対面で活動内容を紹介する。

感染対策のため、新入生が一つのブースに滞在できる時間を10分以内で制限する。団体からのブースへの参加も2人に制限する。教室での展示では、入室者を教室の定員の3分の1までとし、団体はブースに来た新入生の氏名と滞在時

間などを記録する。演奏や踊りなどが披露される特設ステージは、石の広場・1A棟前・1G棟前の3カ所に設置される。文化系サークルなど26団体が参加し、パフォーマンス中もマスクもしくはフェイスシールドの着用を義務付ける。観客席は10分間の間隔を空けることで密集を防ぐ。

新歓祭推進委員会(新推委)委員長の小村心人さん(生物3年)は対面開催は、オンラインよりも各団体の活動内容や雰囲気や伝えやすい。新入生は積極的に参加して、自分の興味に合う団体を見つけてほしいと話している。

一方、新歓用のオンラインツールの活用も続く。昨年4月に公開された筑波大

生向けスマートフォンアプリ「Ringoo」(ringoo.ac.jp/shinkan-web/org/188/)で確認できる。新しいバージョンがリリースされた。

活動内容など話題ごとにスレッドを立てて新入生と団体が交流するチャット機能に加え、団体が写真付きで情報発信できる機能や、新歓イベントの予定をカレンダーで一覧できる機能が追加された。

開発チームの印居蘭丸さん(芸専3年)は「学生団体の要望を聞き取り、使いやすいアプリにすることを目指した。今年は新入生にちろしを配布するなどアプリの周知に力を入れた。昨年より多くの学生に利用してもらい、コロナ禍でも新歓情報をスムーズに共有したい」と話す。

新歓祭に関する最新情報は新歓祭・新歓Webの公式ツイッターや新歓Web(https://

www.stb.tsukuba.ac.jp/shinkan-web/org/188/)で確認できる。

平砂池を清掃

平砂学生宿舎4号棟と同一7号棟の間にある通称「平砂池」(約1000平方メートル)を清掃し、宿舎生の交流の場にするを旨とするプロジェクトが始まっている。

筑波大の学生応援プロジェクト「TA-CT」の一環で、企画者の阿部浩太さん(心理2年)ら5人(3月23日現在)の学生が参加している。

夏になると池から蚊などの虫が湧くことや、コロナ禍で宿舎の学生同士の交流が減ったことがプロジェクトのきっかけだ。今年2月10日には、メンバー2人が手動ポンプを使い、大人の胸あたりまであった水深を約10センチまで減らした。

3月11日には、企画メンバーのうち3人とツイッターなどで企画を知った5人の計8人が、池の底にたまってた落ち葉や泥をスコップでさらった。

阿部さんは「予想以上の落ち葉があった。亀やザリガニなどの生き物も見つけた」と話す。池の脇に積んだままになっている落ち葉や泥の処分は5月までの巡検に同行し、メンバー3人と一緒に、は



平砂池で落ち葉や泥をスコップでさらう学生ら(3月11日、つくば市天久保で)

でに終える予定だ。

阿部さんたちは「池の跡地を宿舎生の憩いの場にした」と話している。

コロナ禍の留学生支援

イスラム教の戒律にのっとったハラールフードをムスタリアム駅はスタジアムの試合開催日などイベント時だけ営業する特別な駅だ。当日は試合開催日、駅には人があふれていた。会長の河本泰さん(人文3年)は「営業日に来たのは初めて。鉄道の巡検に同行し、メンバー3人と一緒に、は

たい」とアイデアを募集中で、「足湯にする」「芸術専門学群の学生の作品を置いてガラスを張り、上から見下ろす展示場にする」などの案が出ているという。提案はグループフォーム(https://bit.ly/3wji1h)へ。(太田碧、写真も)

ハラールフード配布

コロナ禍の留学生支援

イスラム教の戒律にのっとったハラールフードをムスタリアム駅はスタジアムの試合開催日などイベント時だけ営業する特別な駅だ。当日は試合開催日、駅には人があふれていた。会長の河本泰さん(人文3年)は「営業日に来たのは初めて。鉄道の巡検に同行し、メンバー3人と一緒に、は

イベントは同センター国際交流支援室と学生交流課が主催し、ムスリム市場向けに日本企業の商品やサービスを紹介する「Salam Groovy Japan」を運営するジェイ・ライン(本社・大阪市西区)がハラールフードを提供した。

ハラールフードの「ハラール」はアラビア語で「許された」という意味。豚肉を使用しないなど、イスラム教の教えに基づいて調理されたものを指す。

Salam Groovy Japanは昨年10月から11月にかけて巡検が中心だ。

河本さんは「会としてお願いすれば、個人では訪問が難しい場所でも巡検で行けることが多い。単なる旅行ではなく、学びを得られることが楽しい」と魅力を語る。

もともと地理には興味があつたという庄野珠央さん(社会学3年)は、これまで学んだことがない新しい学問である地理を学ぶことに魅力を感じ入会した。「豊富な知識を持つ会員と出かけるといういろいろな事を地理と結びつけて話題にしてくれる。地理が思ったよりも身近で幅広いものを知り、どんどん地理に興味を持った」と話す。

「次は、江戸時代に利根川の流れを付け替えた東遷事業の痕跡をたどりたい。行きたい場所は山ほどある」と河本さん。

地理好きの会員たちの好奇心は今も全開だ。(寺尾優汰比較文化学類3年)

筑波大公式グッズオンライン販売

大学の認知度向上も狙う

筑波大の公式グッズを販売するオンラインショップ「TSUKUBA-SHOP」(https://tsukuba-shop.com)が3月10日、正式オープンした。「TSUKUBA」などの文字を入れたTシャツやパーカー、桐の葉の校章を入れたキーホルダーやマグカップなど計20点(3月17日現在)のグッズが購入できる。売り上げの一部は、筑波大の教育・研究及びスポーツの発展に役立てられる。

筑波大がデューク・コーポレーション(東京都世田谷区)に業務委託して開設された。同社の担当者は「オープンを卒業式・入学式に合わせ、その記念となるグッズをそろえた。今後S」の掲げ板や教職員専用

は商品のラインナップを充実させていきたい」と話した。

筑波大の教職員や学生は1割引で購入できる。教育情報システム「TWIN S」の掲げ板や教職員専用

サイトで関係者向けに開示されるクーポンコードを注文時に入力する。

サークル・ゼミなどの記

念品や贈答品として利用できる「特別注文品」の制作や既存商品への「名入れ」、多数の商品をまとめて発注できる「一括注文」などにも対応する。

業務委託を主管する事業開発推進室によると、コロナ禍の状況を見つ、学内に実店舗も設ける予定だ。



オンラインショップのサイト(3月23日、本紙編集室で)

ウェブサイトにはこちらから↓

同室の担当者は「グッズは大学への愛着心を育んでもらったり、筑波大を知ってもらったりするきっかけになる。学内や地域の方などさまざまな人に利用していただきたい」と語った。

学生生活課によると、米パンの販売場所には体バチ奥のスペースで弁当販売していた風情(茨城県筑西市)とBonito(つくば市)が移動して営業する。

風情は暮の内弁やドーナツなどを月・火・木曜日、Bonitoはスペイン産生ハムバゲットやランチボックスなどを水・金曜日に販売している。(中山友明香II生物学類3年、16面に関連写真)

同室の担当者は「グッズは大学への愛着心を育んでもらったり、筑波大を知ってもらったりするきっかけになる。学内や地域の方などさまざまな人に利用していただきたい」と語った。

学生生活課によると、米パンの販売場所には体バチ奥のスペースで弁当販売していた風情(茨城県筑西市)とBonito(つくば市)が移動して営業する。

風情は暮の内弁やドーナツなどを月・火・木曜日、Bonitoはスペイン産生ハムバゲットやランチボックスなどを水・金曜日に販売している。(中山友明香II生物学類3年、16面に関連写真)

筑波大学地理愛好会

旅行の中に学びあり

巡検では、鹿島神宮や鹿島臨海工業地帯などを半日で巡った。訪問先の一つ、JR東日本鹿島サッカ



茨城県石岡市の就農支援施設で、農業研修生から説明を受ける会員ら=地理愛好会提供

道で来るには不便なところでもこれだけ利用者がいることに驚いた」と駅の重要性と鉄道の輸送力の大きさを実感している。

活動は週1回のミーティングとメンバーの発

茨城県石岡市の就農支援施設で、農業研修生から説明を受ける会員ら=地理愛好会提供

茨城県石岡市の就農支援施設「朝日里山ファーム」を訪問した。18人が里山の生産現場や地元で栽培されているエゴマの加工施設を見学した。農業の担い手の確保や作物の特産品化、加工品開発による収益の確保といった農業振興施策を肌で感じたという。

また、5C棟(体芸棟)で開くミーティングでは、大学入試共通アスの地理の問題を解いたり、巡検予定地の歴史や文化について勉強したりと、さまざまな企画が実施される。

卒業論文の内容をミーティングで発表した経験を持つ岡太一さん(社

「次は、江戸時代に利根川の流れを付け替えた東遷事業の痕跡をたどりたい。行きたい場所は山ほどある」と河本さん。

地理好きの会員たちの好奇心は今も全開だ。(寺尾優汰比較文化学類3年)

Who's Who?

気象予報士「走る人参」

森本 啓介 さん (地球2年)



気象予報士として活躍する森本さん=本人提供

「はい、走る人参です。西から天気が崩れます。南岸低気圧がいらっしやいます。東北は雪の所が多いでしょう……」

3月18日時点で登録者数は4000人を超える。コメント欄には「堅苦しくない気象解説っていいですね」「このチャネル役に立つ」などの書き込みが寄せられている。昨年12

月末の寒波にまつわる動画は、9万回以上再生された。高校3年生で気象予報士の資格を取った。現在は地球学類で学ぶ傍ら、昨年12月には気象予報士の派遣や予報データの公開を行うウェザーマップ(本社・東京都港区)と契約。TBS系の早朝の生放送番組で、気象コーナーの制作にも関わっている。

幼い頃の興味持ち続け

SNSで気象情報を発信

知多市で、雪が降るとは少ない。ところが、その時は大雪となり、かまくら作りや雪合戦で大はしゃぎした。それ以降、次はいつ雪が降るのかとテレビで天気予報を確認するようになった。やがて、刻一刻と変化する天気を予測する気象予報そのものに興味を湧くようになった。

地球学類を進学先に選んだのは、気象学に関する幅広い分野を学べると考えたから。授業、筑波山中腹の斜面の気温がふもとに比べて高くなる現象が起きることを知り、つくば周辺の気象への関心も深まっている。

テレビの気象番組に関わり、出演するキャスターが放送直前まで原稿の訂正や言葉遣いを確認する様子を目撃した。「分かりやすく人に伝える重要性を再認識し、将来は気象に関する仕事をしたい」という思いが一層強まっている。

3月16日午後11時36分、福島県沖震源の地震が発生しました。つくば市は震度4を観測しました。本紙編集室も緊急地震速報に続く揺れの間接に停電しました(2面)。久々に感じた大きな揺れに、災害はいつ起きるか分からないこと、日ごろの備えの大切さを再認識しました。つくば市は「スーパーシティ特区」に指定される見通しです(3面)。

授(シス情系)は「恩恵を受けるのもリスクを負うのも私たち市民だ」と言いま

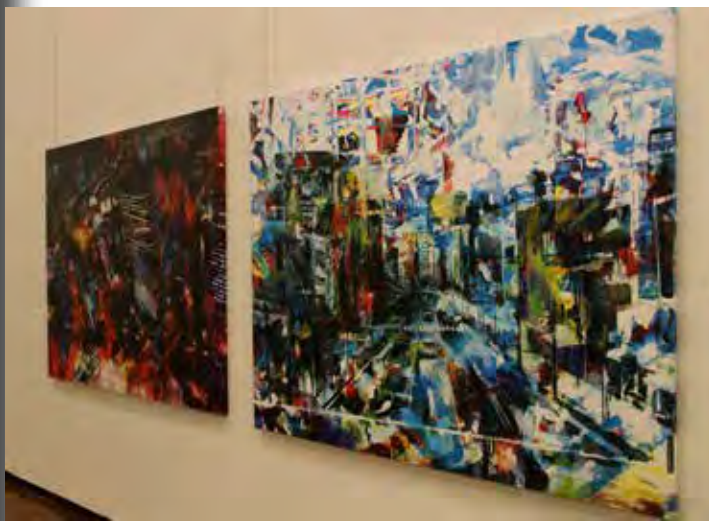
総合学域群移行式



学生に激励の言葉を贈る山中弘総合学域群長(3月22日、1E棟で) = 及川千翔撮影

3面へ

卒業・修了制作展



田嶋はる奈さんの作品「屈折し歪曲するI・II」(2月8日、つくば美術館で) = 太田碧撮影

5面へ

つくば体操フェスティバル



Gボールを使って演技する体操部員ら(2月5日、つくばカピオで) = 細井真生撮影

13面へ

栄パン 営業終了



営業終了を惜しむ学生でにぎわう栄パンの出張販売所(3月25日、5C棟で) = 山田優芽撮影

15面へ

学内総合

学芸

スポーツ

学生生活

編集後記

授(シス情系)は「恩恵を受けるのもリスクを負うのも私たち市民だ」と言いま

【編集・発行】

筑波大学新聞編集委員会

▽委員長 土井隆義(人文社会学系・教授)

▽副委員長 関瑞穂(学生部長)

▽委員 逸村裕(図書館情報メディア系・教授)

▽委員 清水(体育系・教授)

▽委員 スポーツ社会学系・菅谷純子(生命環境系・教授)

▽委員 果樹園芸学

【筑波大学新聞編集部】

▽編集代表 鴨志田公男(筑波大学・教授)

▽編集長 中谷都実(社会学類3年)

▽副編集長 川千翔(人文社会学類3年)

▽副編集長 天野隼太(比較文化学類3年)

ほか編集部員18人

発行所 筑波大学

印刷 リリコム

次号は 5月30日(月)

発行予定です